

2013年6月4日

# 2012年度決算概況と 今後の事業展開について

Speciality Chemical Partner



## 荒川化学工業株式会社

# 目次

1. 2012年度決算概況と今期の予想
2. セグメント別情報
3. 株主還元策
4. 基盤事業
5. 伸長事業
6. 国際展開
7. 第3次中期経営計画

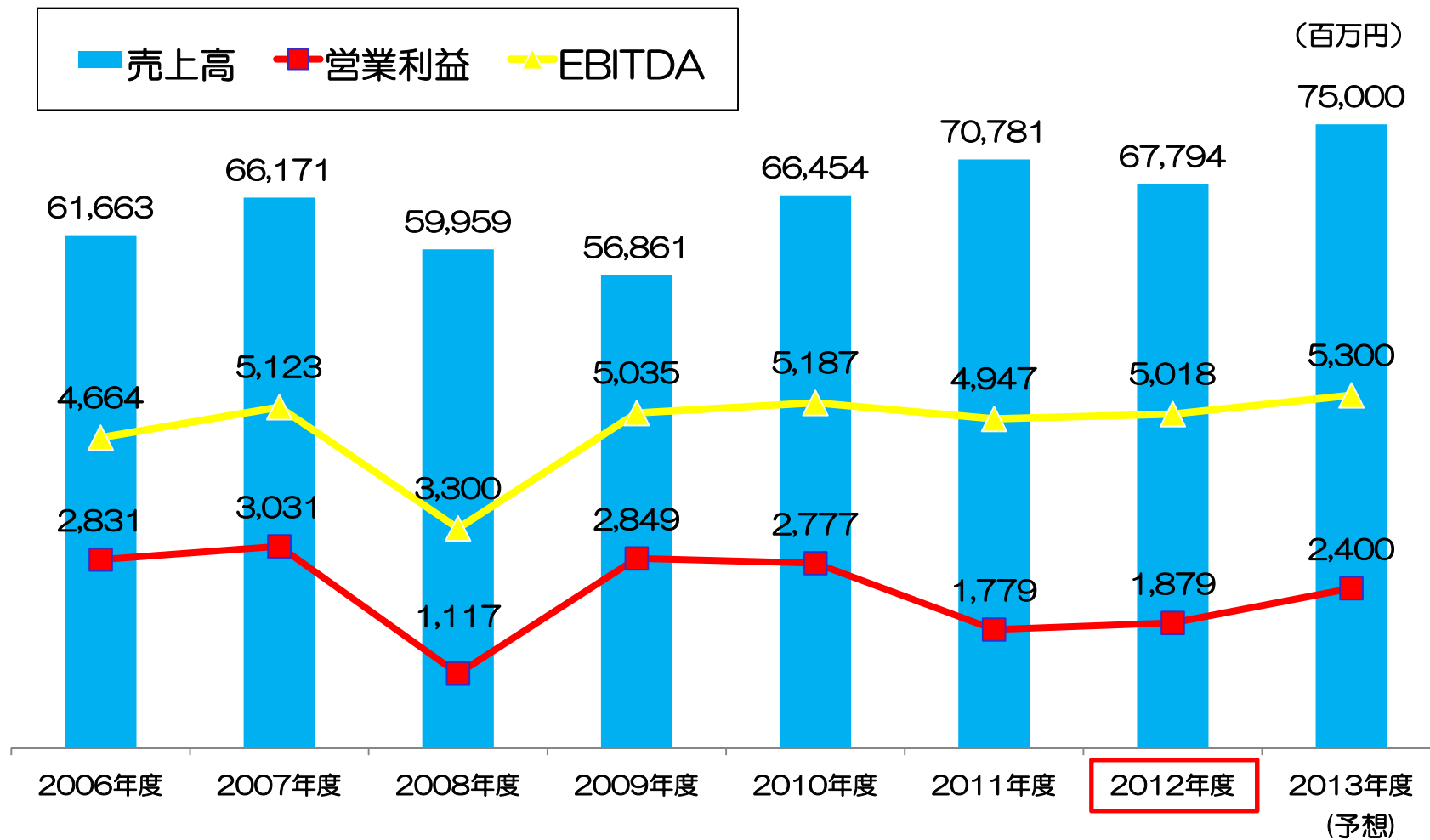
参考資料. 会社・事業概要、売上原価率・販管費率  
キャッシュフロー、第3次中期経営計画 等

# 1. 2012年度決算概況と今期の予想

## 1-1. 業績概要（連結）

(単位：百万円) (下段：増減%)	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度 (予想)
売上高	59,959 △9.4%	56,861 △5.2%	66,454 16.9%	70,781 6.5%	67,794 △4.2%	75,000 10.6%
営業利益	1,117 △63.1%	2,849 155.1%	2,777 △2.5%	1,779 △36.0%	1,879 5.6%	2,400 27.2%
経常利益	1,291 △59.9%	3,224 149.6%	2,976 △7.7%	1,858 △37.6%	1,934 4.1%	2,500 29.2%
当期純利益	657 △63.0%	1,395 112.3%	1,619 16.1%	1,368 △15.5%	982 △28.2%	1,300 32.3%
R O E	1.9%	4.0%	4.5%	3.7%	2.6%	3.3%
EBITDA	3,300 △35.6%	5,035 52.6%	5,187 3.0%	4,947 △4.6%	5,018 1.4%	5,300 5.6%

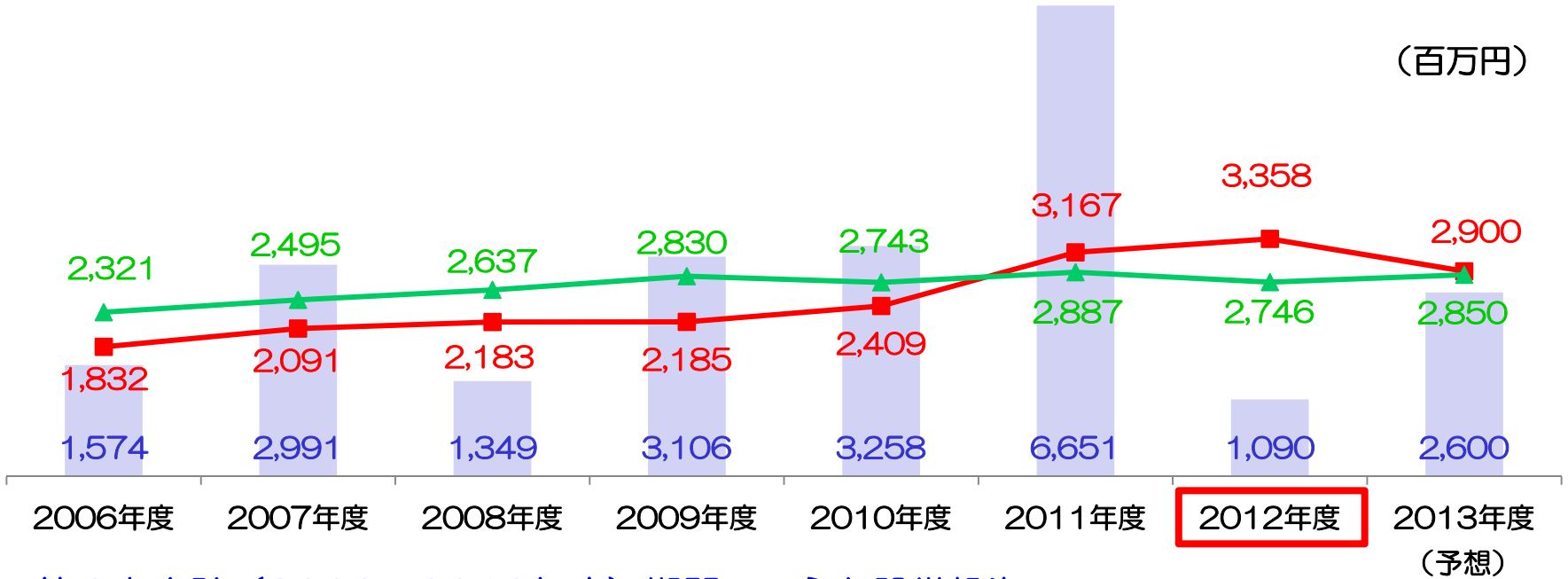
# 1-2. 業績推移 (連結)



## 1-3. 経営指標等（連結）

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度 (予想)
自己資本比率 (%)	58.3	55.8	47.5	47.8	49.6	49.6
売上高営業利益率 (%)	1.9	5.0	4.2	2.5	2.8	3.2
売上高経常利益率 (%)	2.2	5.7	4.5	2.6	2.9	3.3
一株当たり 当期純利益 (EPS) (円)	32.64	69.28	80.43	67.96	48.81	64.55
一株当たり 純資産 (BPS) (円)	1,695.62	1,775.81	1,801.54	1,828.79	1,931.05	1,970.00

# 1-4. 設備投資 (連結)



## 第2次中計 (2008~2012年度) 期間での主な設備投資

- ・大阪工場 光硬化型樹脂等生産設備 (2011年2月完工) 2,250百万円
- ・富士工場 粘着・接着剤用樹脂設備 耐震&合理化 (2011年5月完工) 1,424百万円
- ・小名浜工場 超淡色ロジン生産設備 (2011年10月完工) 2,726百万円

### 第2次中計期間での投資額合計

- ・投資金額
- ・減価償却費
- ・研究開発費

### 計画

約250億円  
 約180億円  
 約150億円

### (5年間実績累計額)

約200億円  
 約133億円  
 約138億円

## 2. セグメント別情報（グループ体制）

### 伸長事業

#### 電子材料事業

（光電子材料事業）  
光硬化型樹脂、  
電子材料用配合製品  
等

（機能材料事業）  
精密部品洗浄剤  
および洗浄装置  
機能性ファイン  
ケミカル製品  
等

[日本] ペルノックス  
高圧化学

[中国]  
荒川化学合成(上海)

[台湾]  
ポミラン・テクノロジー

その他

[日本] カクタマサービス

### 基盤事業

#### 製紙薬品事業

サイズ剤、紙力増強剤、  
塗工紙用薬品 等

[中国] 南通荒川

広西梧州荒川

[台湾] 台湾荒川

#### 化成品事業

印刷インキ用樹脂

塗料用樹脂

粘着・接着剤用樹脂

合成ゴム重合用乳化剤

超淡色ロジン 等

[中国] 広西梧州荒川

南通荒川・廈門荒川

荒川化学合成(上海)

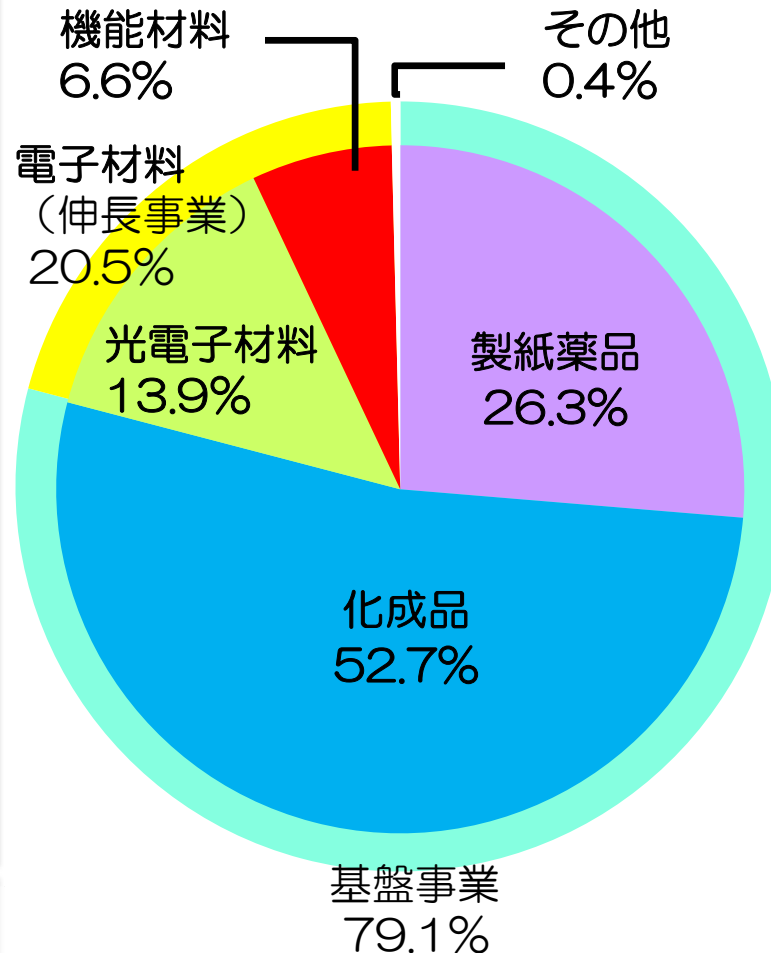
[台湾] 台湾荒川

[米国] 米国荒川

[タイ] タイ荒川

[ドイツ] 荒川ヨーロッパ

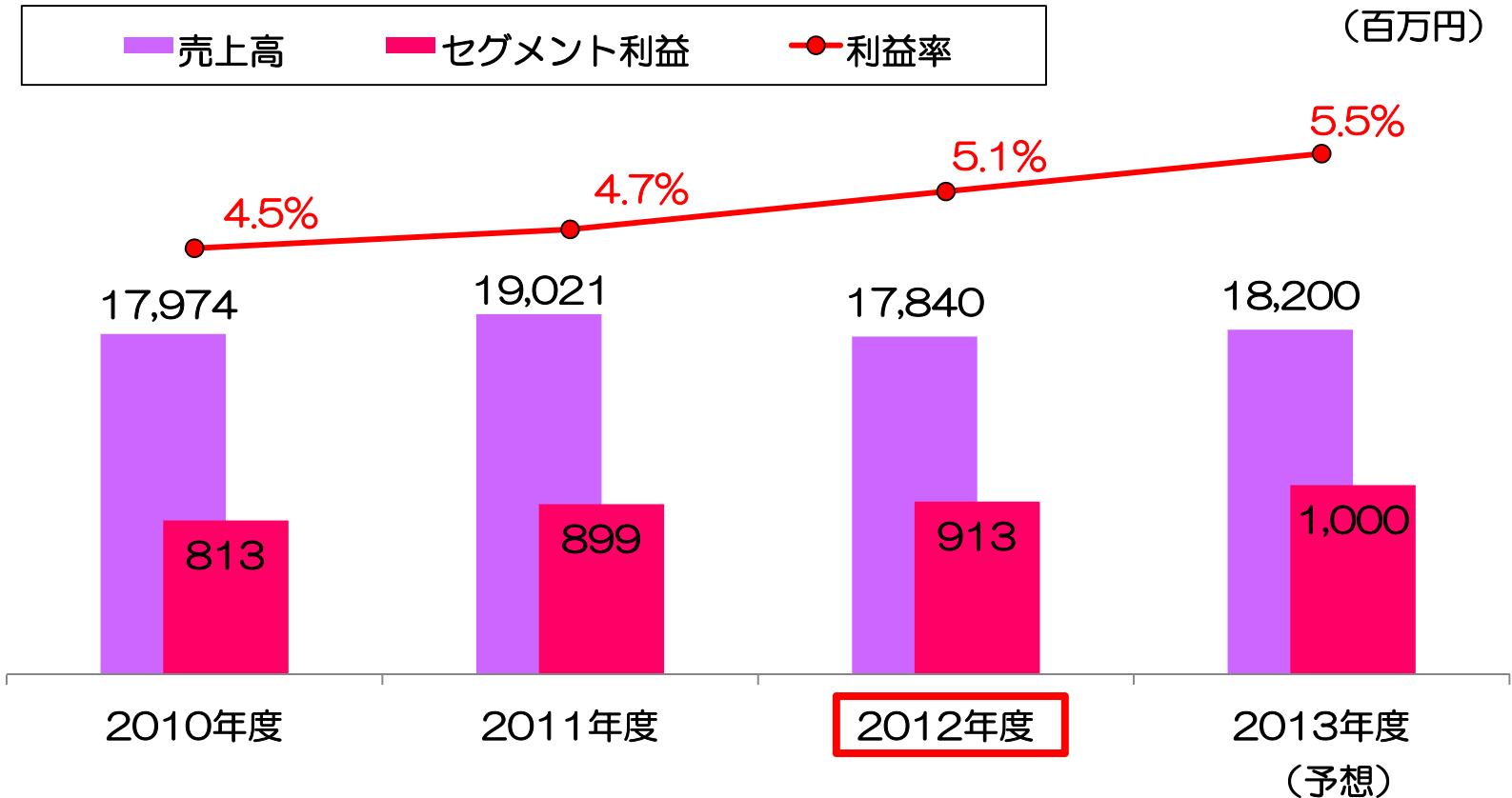
2012年度売上高  
677億円



## 2-1. 報告セグメント別概況（1）製紙薬品事業

### 製紙薬品事業（2012年度）

アジア地域での新規採用が進んだが、国内の販売が低調に推移し、減収。  
利益面では、台湾、中国における拡販や新製品投入により、全体では増益。

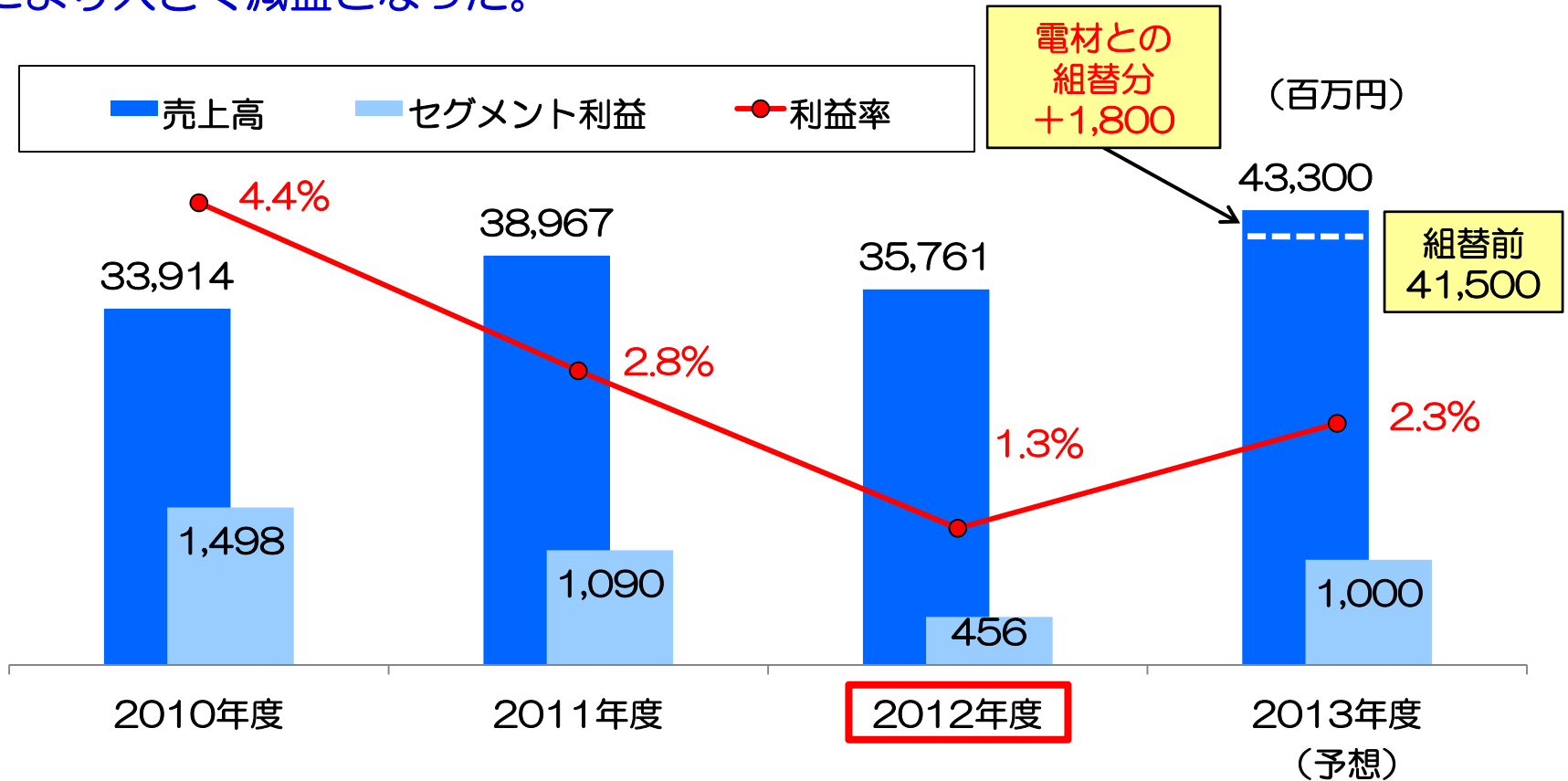




## 2-2. 報告セグメント別概況（2）化成品事業

### 化成品事業（2012年度）

国内は新製品の採用もあったが、印刷インキ用樹脂や粘着・接着剤用樹脂の販売が減少、海外も低調に推移し、欧州での粘着・接着剤用樹脂の販売は回復したが、減収。利益面では、超淡色ロジンの設備投資にともなう減価償却費の増加などにより大きく減益となった。

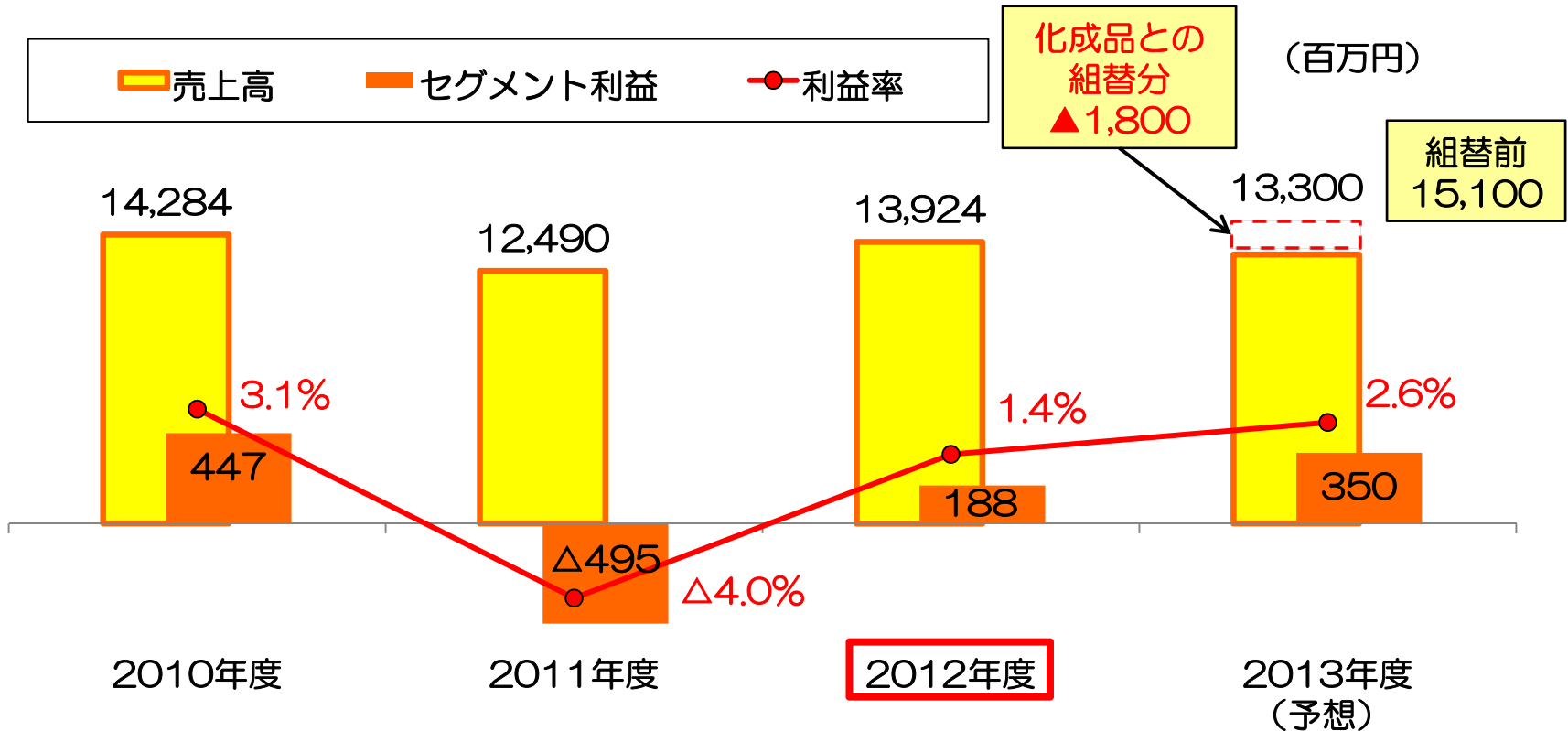


## 2-3. 報告セグメント別概況 (3) 電子材料事業

### 電子材料事業 (2012年度)

2011年夏場以降の需要低迷から、光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、機能性ファインケミカル製品の販売が回復し、増収。

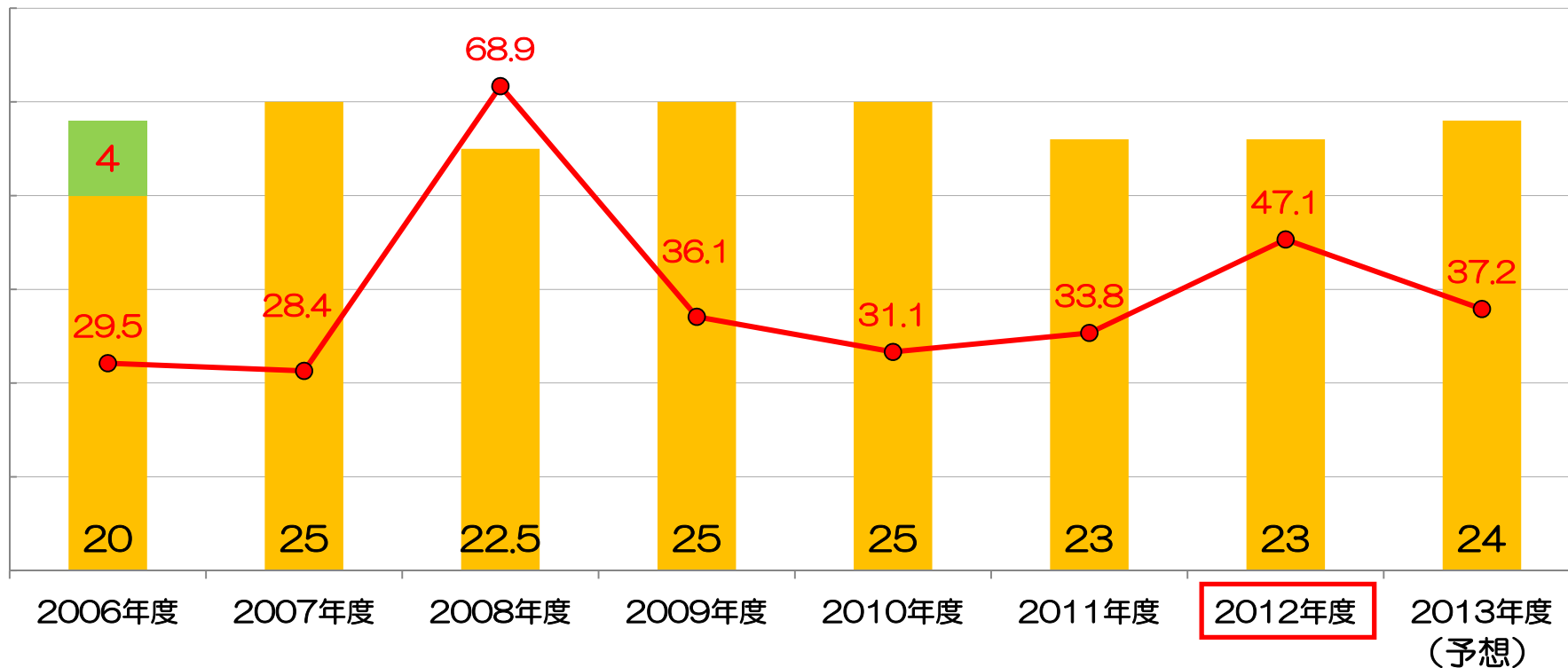
利益面では、第4四半期は在庫調整の影響があったものの、通期では前年度の損失から黒字転換し、増益。



### 3. 株主還元策

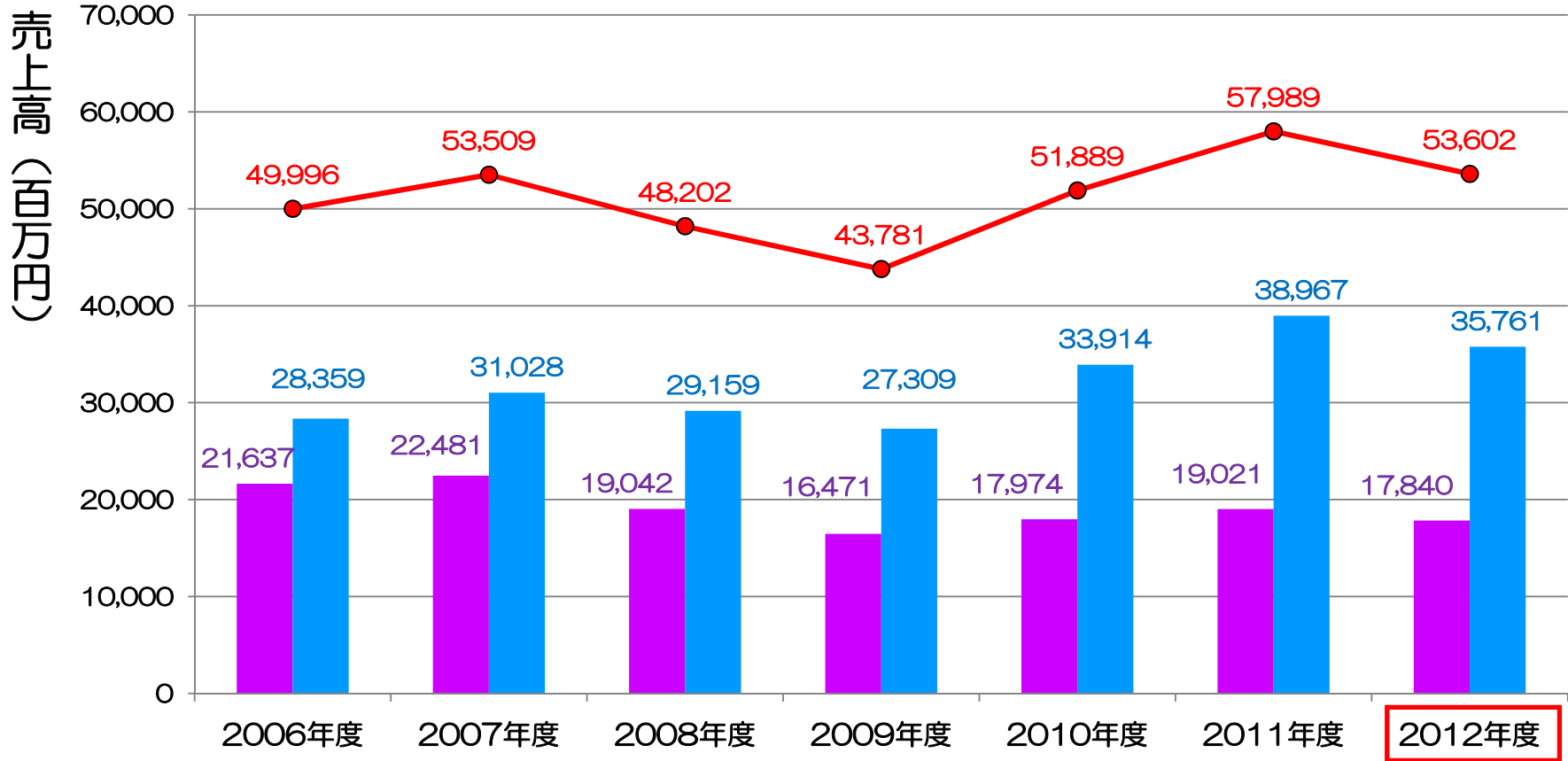
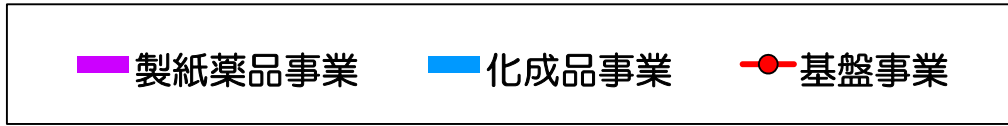


配当金（円）、配当性向（%）



2011年度配当	中間配当	11.5円	+	期末配当	11.5円	計23.0円
2012年度配当	中間配当	11.5円	+	期末配当	11.5円	計23.0円
2013年度配当(予想)	中間配当	12.0円	+	期末配当	12.0円	計24.0円

# 4. 基盤事業（製紙薬品事業+化成品事業）



# 4-1. 超淡色ロジン (パインクリスタル)

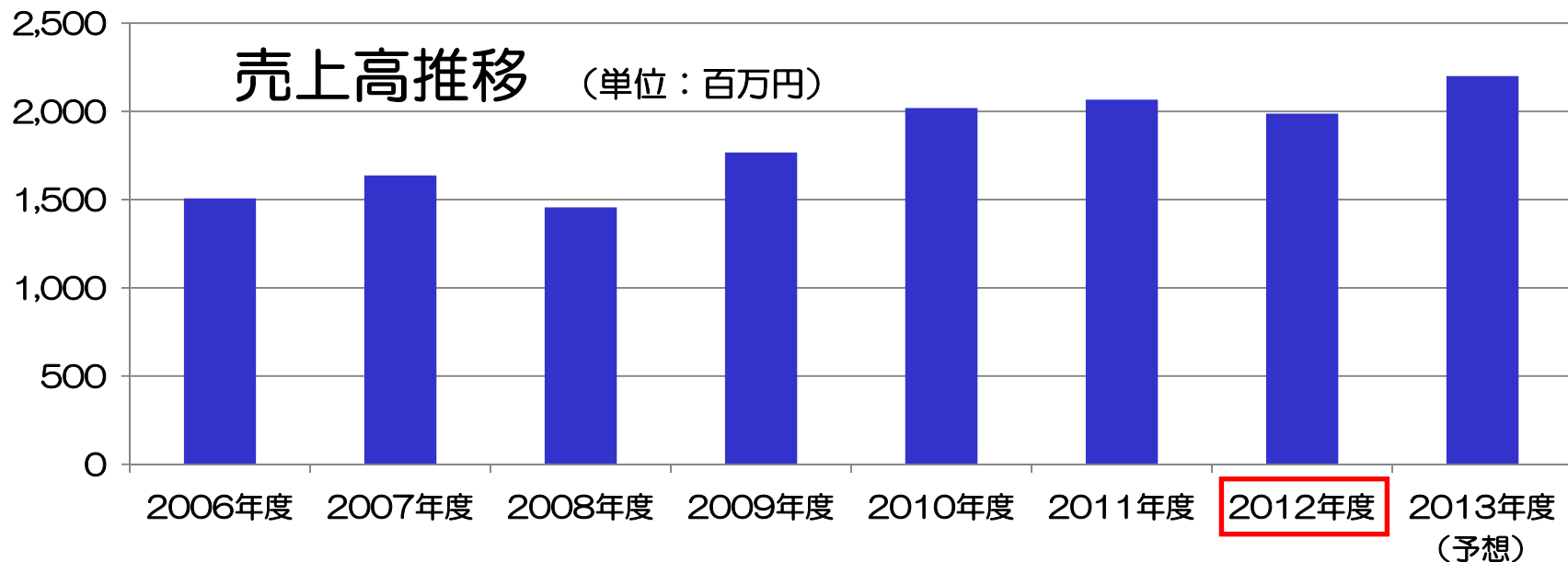


**[用途]** 鉛フリーはんだ用フラックス  
 医療用ハップ剤  
 プラスチック用結晶核剤

**[特徴]** 不純物が少ない、熱に対して安定

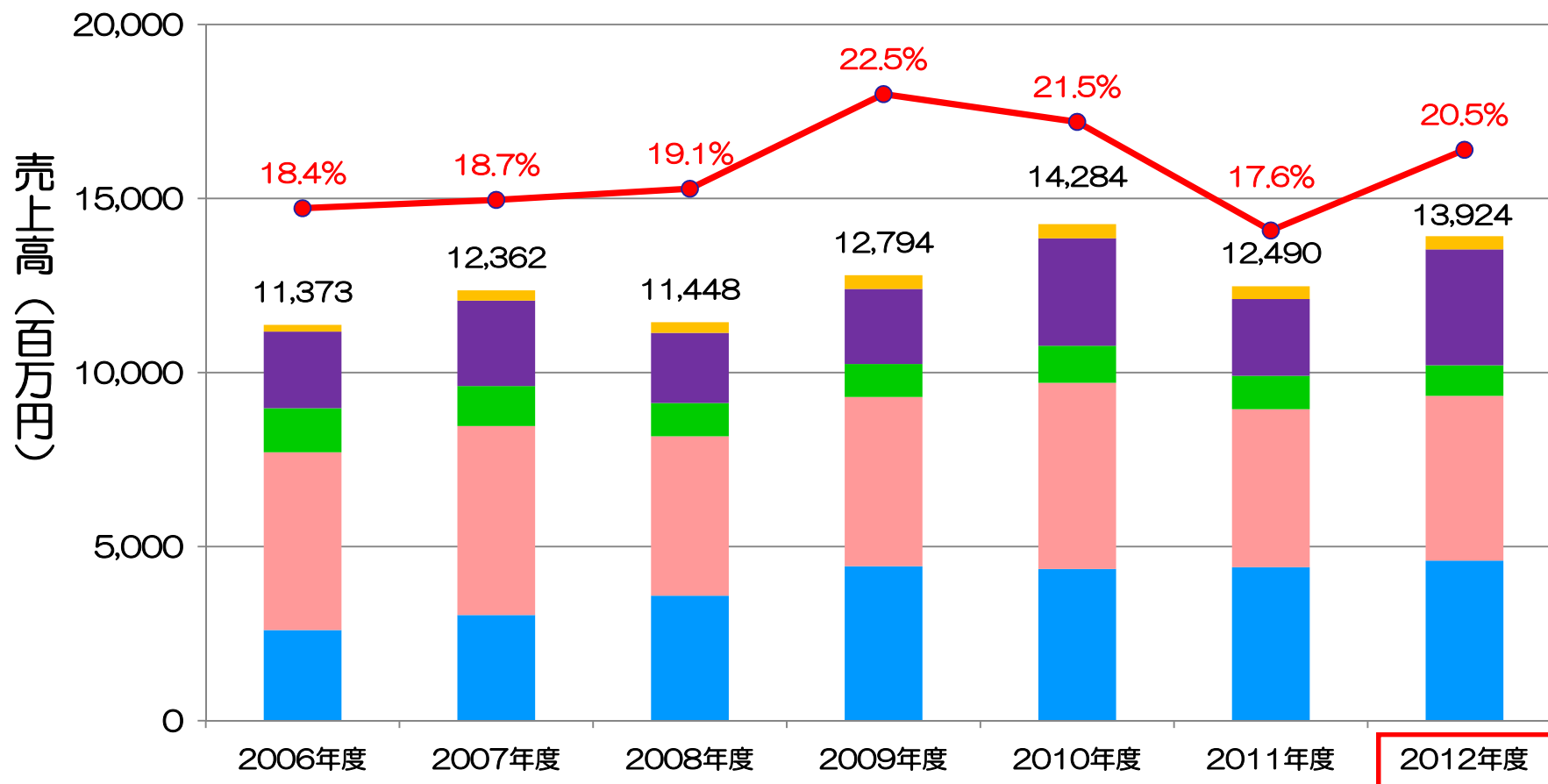
新グレード開発で用途を拡大 (参照: NO. 49)

小名浜工場に製造設備新設、2011年10月完工  
 投資金額:2,740百万円 生産能力:約2,500トン/年



## 5. 伸長事業(光電子材料事業+機能材料事業)

- 光硬化型樹脂
- 電子材料用配合製品(ペルノックス)
- 精密部品洗浄剤・洗浄装置
- 機能性ファインケミカル製品(高圧化学)
- その他
- 伸長事業占有率 (対連結売上高)



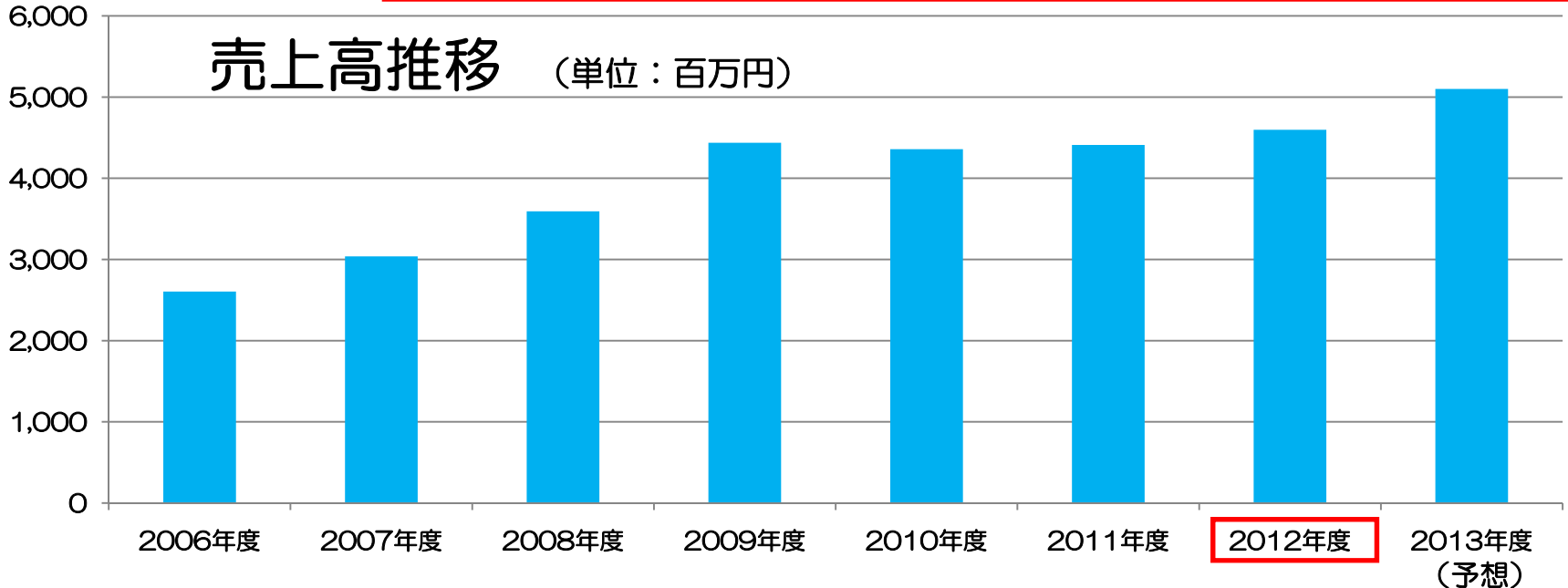
# 5-1. 光硬化型樹脂 (ビームセット)



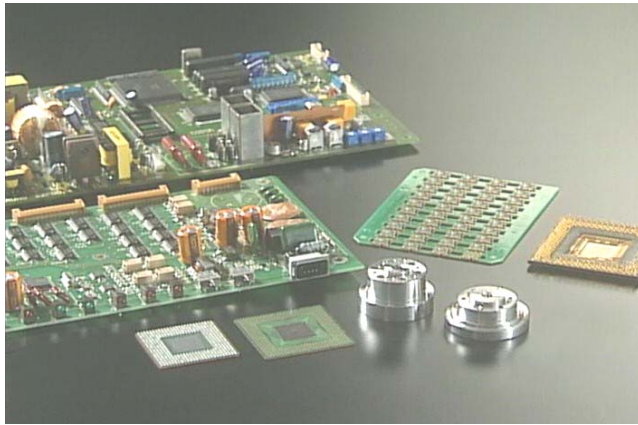
<b>[用途]</b>	<b>機能性コーティング</b>	<b>環境・省エネ対応</b>
	携帯電話・スマートフォン ディスプレイ I C生産工程用	印刷インキ・塗料 クリアワニス 水系化

**[特徴]** 紫外線、電子線で硬化 高機能性  
速硬化性=高生産性=省エネ

大阪工場に製造設備新設、2011年2月完工  
投資金額:2,250百万円 生産能力:約4,000トン/年

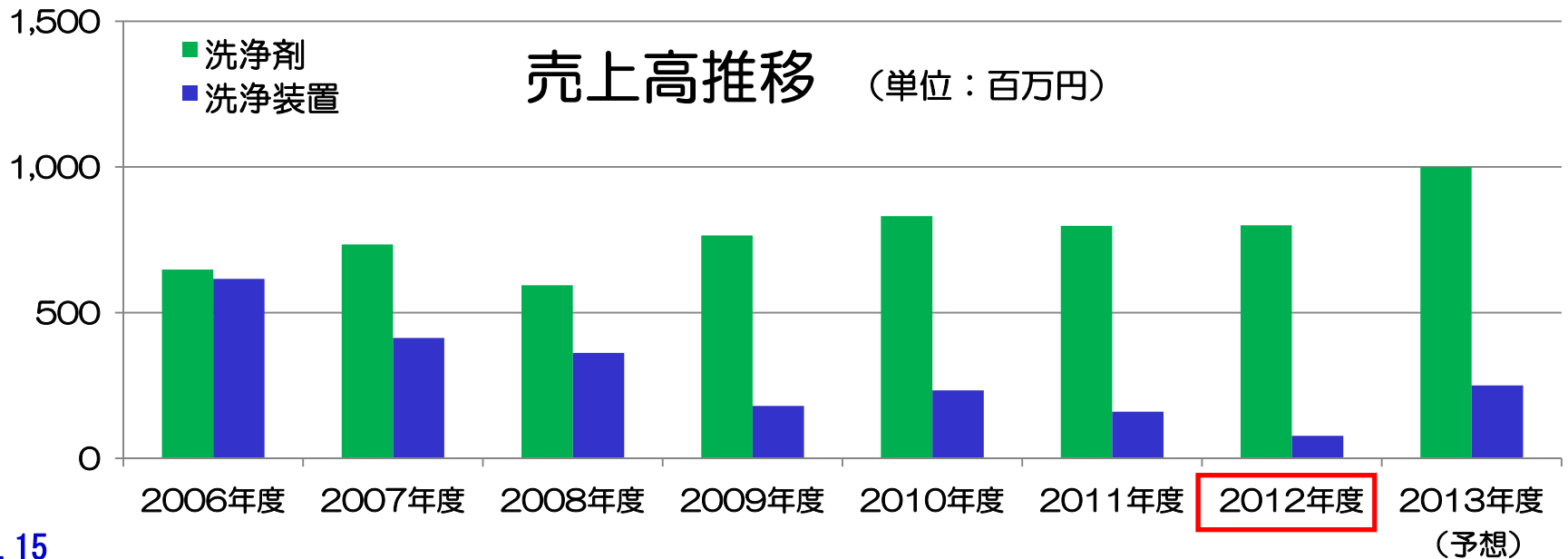


## 5-2. 精密部品洗浄システム（パインアルファ、洗浄装置）



[洗浄対象] 実装基板 BGA  
 ハイブリッドIC  
 HDDケース  
 WL-CSP  
 通信機器部品  
 シリコンウェハ 等

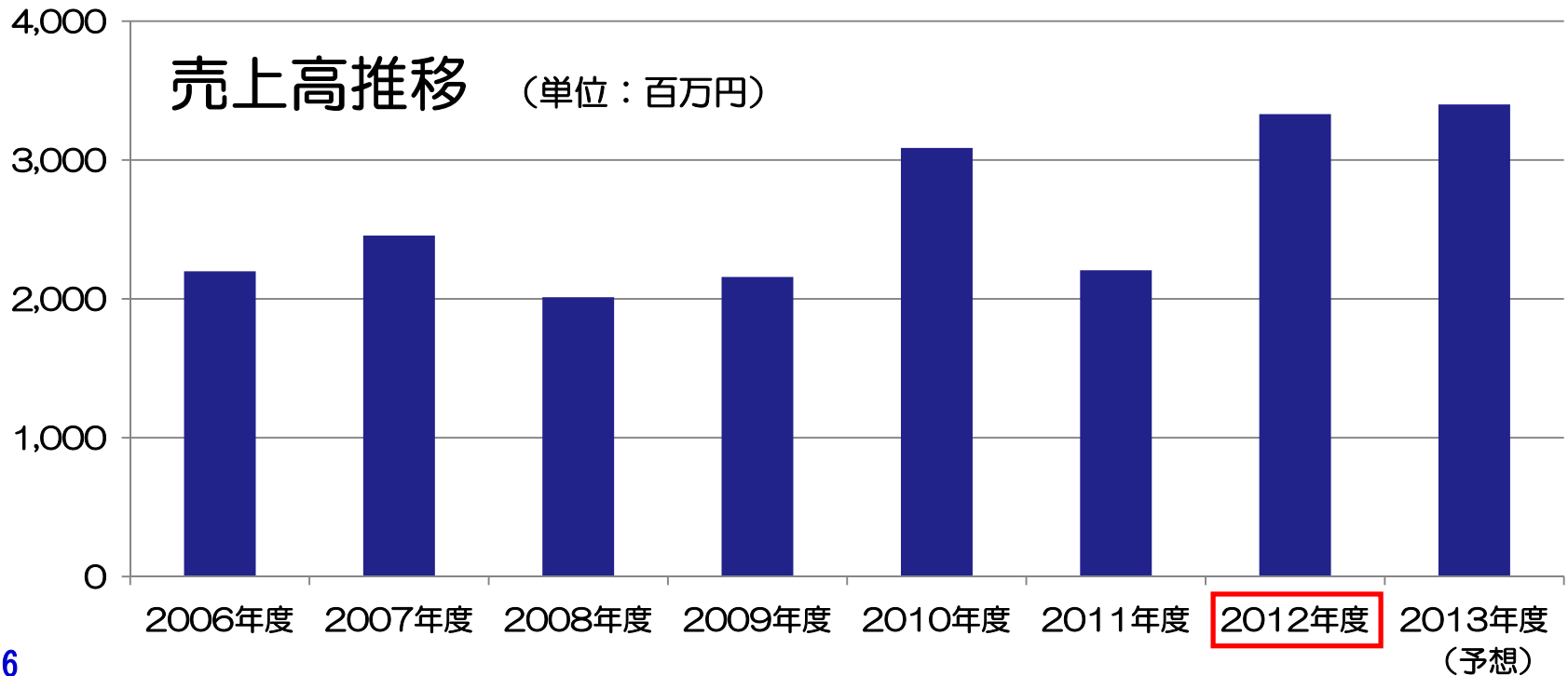
[特長] 安全性と洗浄性を兼ね備えた、環境にやさしい、準水系洗浄剤





# 5-3. 機能性ファインケミカル製品

- ・ 高圧化学工業のクリーン環境対応設備にて機能性ファインケミカル製品を製造
- ・ 高度な品質管理体制が強み



## 5-4. 電子材料用配合製品（ペルノックス）

- ・2003年10月にグループ化
- ・エポキシ樹脂、シリコン樹脂などの樹脂とフィラーの配合・分散技術に強みを持つ
- ・ディスプレイ関連の導電性材料が伸長

新設備増設 2011年5月完工

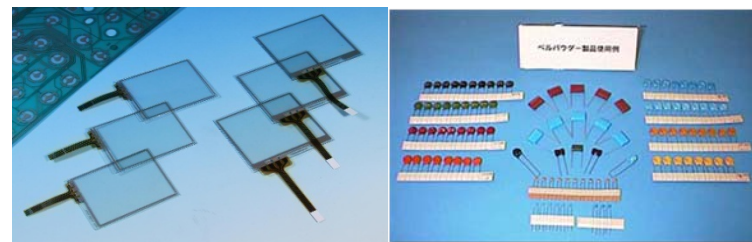
投資金額：449百万円 生産能力約3割増

### 導電性材料

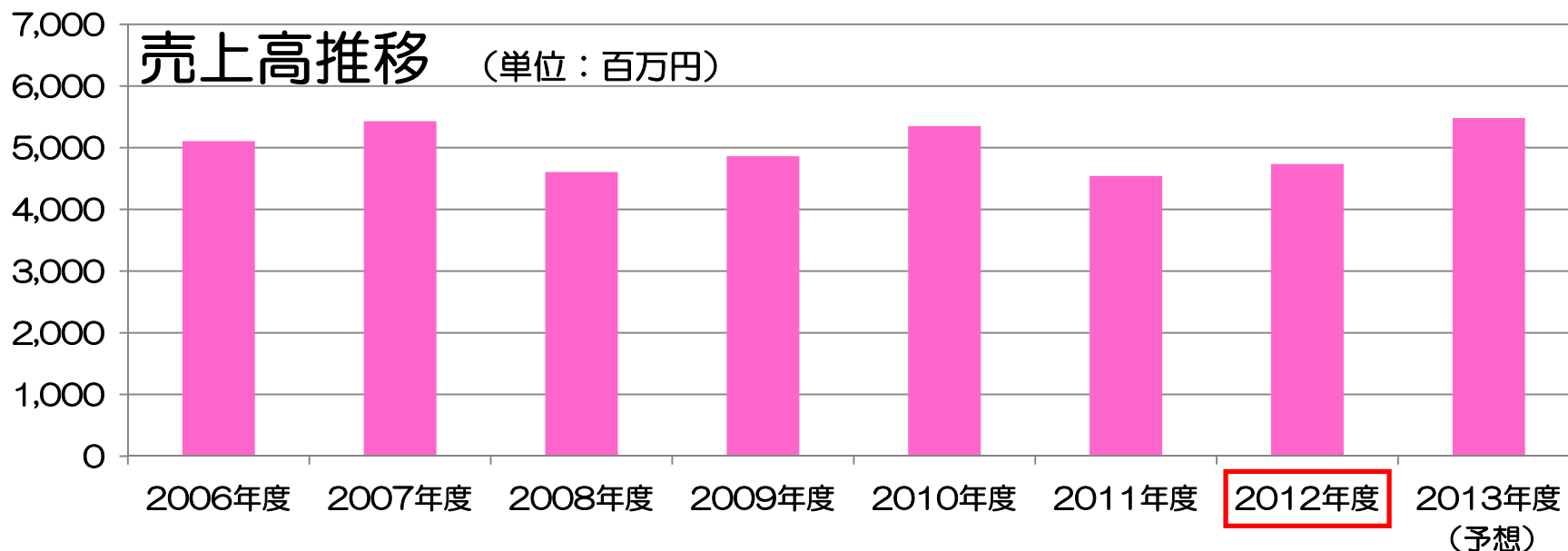
（タッチパネル電極用導電性ペースト、ディスプレイの帯電防止コーティング剤等）

### 粉体エポキシ樹脂製品

（コンデンサーコーティング用樹脂等）



新製品（放熱塗料）を上市（参照：No.51）



# 6. 国際展開

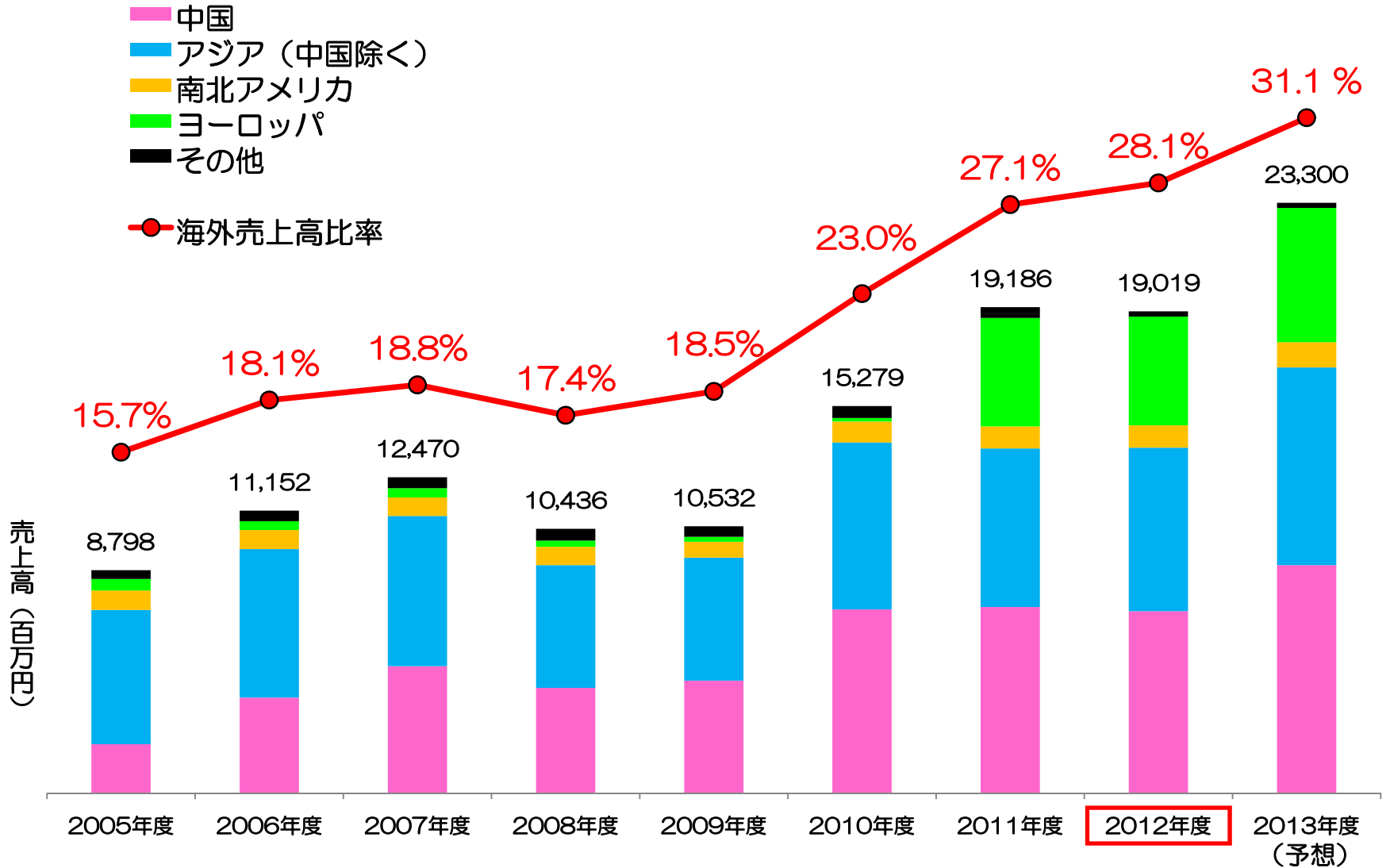
## 6-1. 荒川化学グループの国際展開

● 製造拠点  
▲ 販売拠点



# 6-2. 海外売上高

## 海外売上高・比率推移



# 7. 第3次中期経営計画（2013～2015年度）

キャッチフレーズ

## グローバル140

※グローバルは、  
日本を含めた 世界全体のこと

**（基本方針）グローバルに通用する経営基盤を構築する**  
～化学はグローバル市場では成長産業である～

### 1) グローバル化の加速

海外売上高280億円、海外売上高比率35%を目指して、アジアを中心とした拠点戦略を一層展開させるとともに、グローバルブランドを育成する。

### 2) 日本事業の再構築

グローバル市場の中での日本事業の位置付けを再認識し、収益を確保できる体制を構築する。

### 3) グローバルガバナンス体制の強化

グローバルで信用される企業となるため、グループガバナンス体制を強化するとともに、スピード感を持って実行できる体制を構築する。

### 4) 事業開発の促進

「つなぐを化学する」をキーワードに全社横断の事業企画活動を強化する。

2015年度目標：	売上高	800億円
	経常利益	40億円
	ROE	≥5%

## 第3次中計と連動したインセンティブ制度を導入する

業績目標に対する責任と目標達成時のインセンティブを明確にするため、有償ストック・オプション（新株予約権）を付与する。

有償ストック・オプション	
予約権割当対象者	取締役および従業員 241名
予約権の総数	10,200個
株式の種類及び数	当社普通株式 100株/個

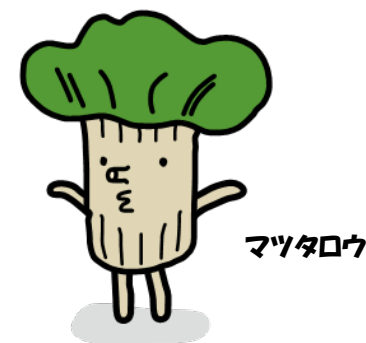
## 行使条件（業績達成）

	2013年度	2014年度	2015年度
売上高	—	—	800億円超
経常利益	25億円超	33億円超	40億円超
行使比率	20%	30%	50%

## 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

荒川化学工業株式会社



# 以下、参考資料

## 目次

- 1 . 会社概要
- 2 . 経営方針
- 3 . 事業の概要
- 4 . ロジンについて
- 5 . 事業とセグメントの関係
- 6 . 個別業績推移
- 7 . 売上原価、販管費の推移（連結）
- 8 . キャッシュフロー推移（連結）
- 9 . 第2次中期5カ年経営計画の振り返り  
第2次中期5カ年経営計画の成果
10. 第3次中期経営計画の概要
11. 総資産・有利子負債推移
12. 新製品紹介
  - アラコート、パインクリスタル／化成品事業
  - ポミラン／光電子材料事業
  - ペルクール／光電子材料事業（ペルノックス）
13. 環境配慮型製品の売上高推移



# 1. 会社概要

商号	荒川化学工業株式会社
所在地	大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者	取締役社長 谷奥 勝三
創業	明治9年（1876年）
会社設立	昭和6年（1931年）
資本金	31億2,830万円
決算期	3月
上場取引所	東証・大証一部
証券コード	4968

## 2. 経営方針


経営理念

**個性を伸ばし技術とサービスでみんなの夢を実現する**

ビジョン

**つなぐを化学する**

**SPECIALITY CHEMICAL PARTNER**



株主、取引先、社員および社会に貢献して  
企業価値を高めていく

# 3. 事業の概要



# 4. ロジンについて

## 4-1. 生松脂採取からロジン製品完成までの流れ

### ①生松脂採取

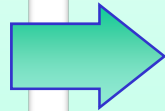
### ②生松脂の受入～ロジンの精製 (広西梧州荒川化学工業有限公司)

### ③各種用途向けに加工



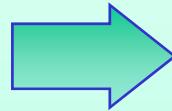
生松脂採取

\*松の木に溝をつけ、滲み出してきた松脂を収集する



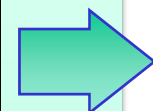
生松脂入荷

精製

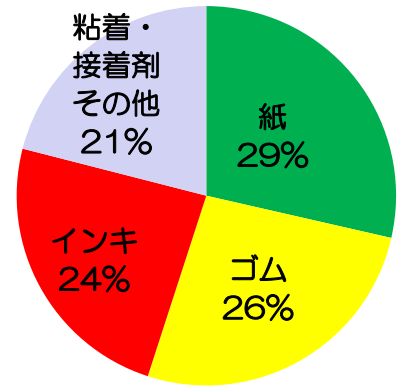


ロジン

加工



テレピン油



ロジンの用途別国内消費量

世界のロジン生産量 110万～130万トン/年  
 内 中国の生産量 55万～70万トン/年

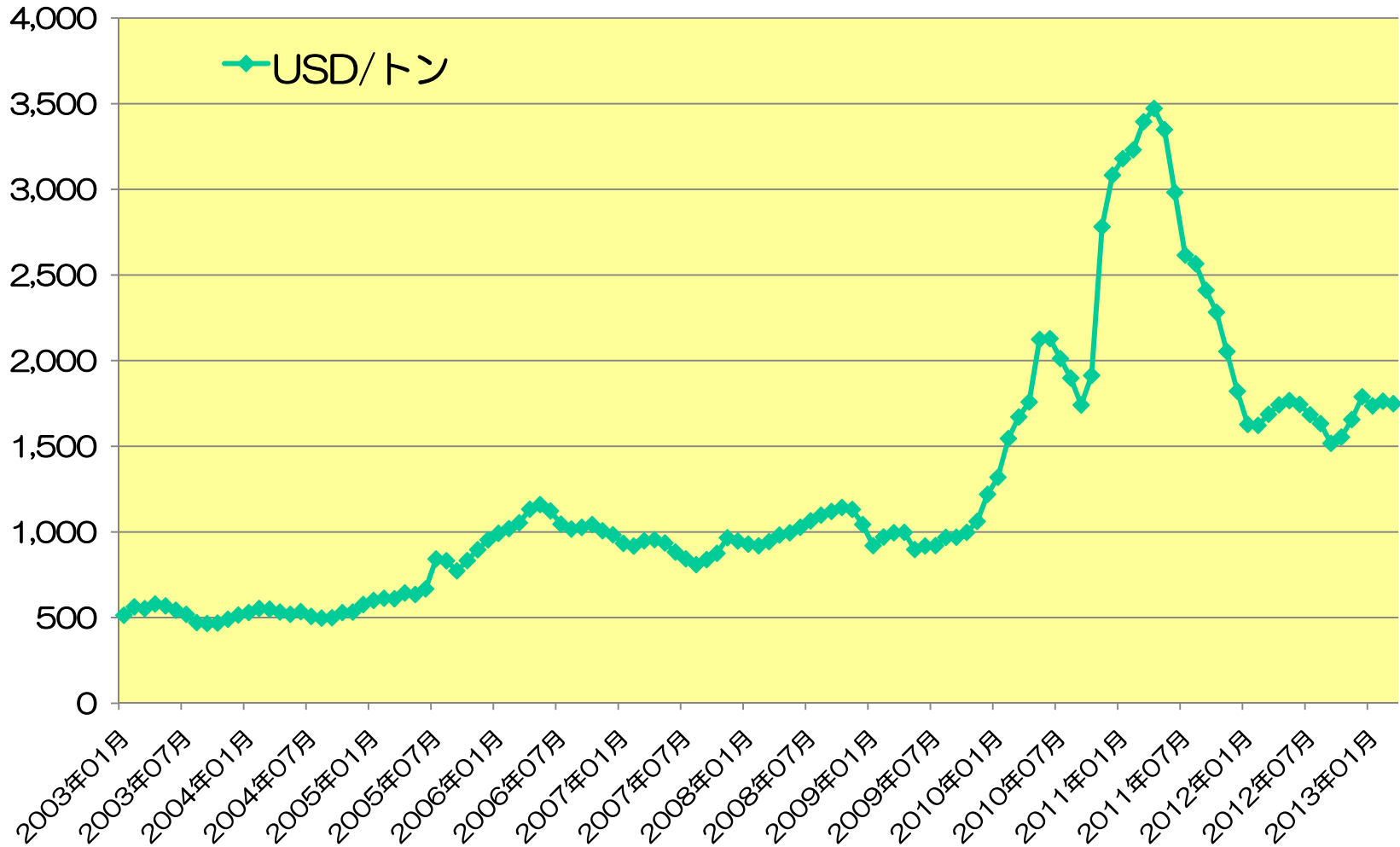
日本のロジン消費量 6～7万トン/年  
 内 荒川化学の消費量 2～3万トン/年  
 (大半を中国から輸入)

ロジンは、生活必需品から電子材料分野まで幅広い用途に使用されている

# 4-2. ロジン価格の推移

## 中国ロジン輸入価格統計

※通関統計より



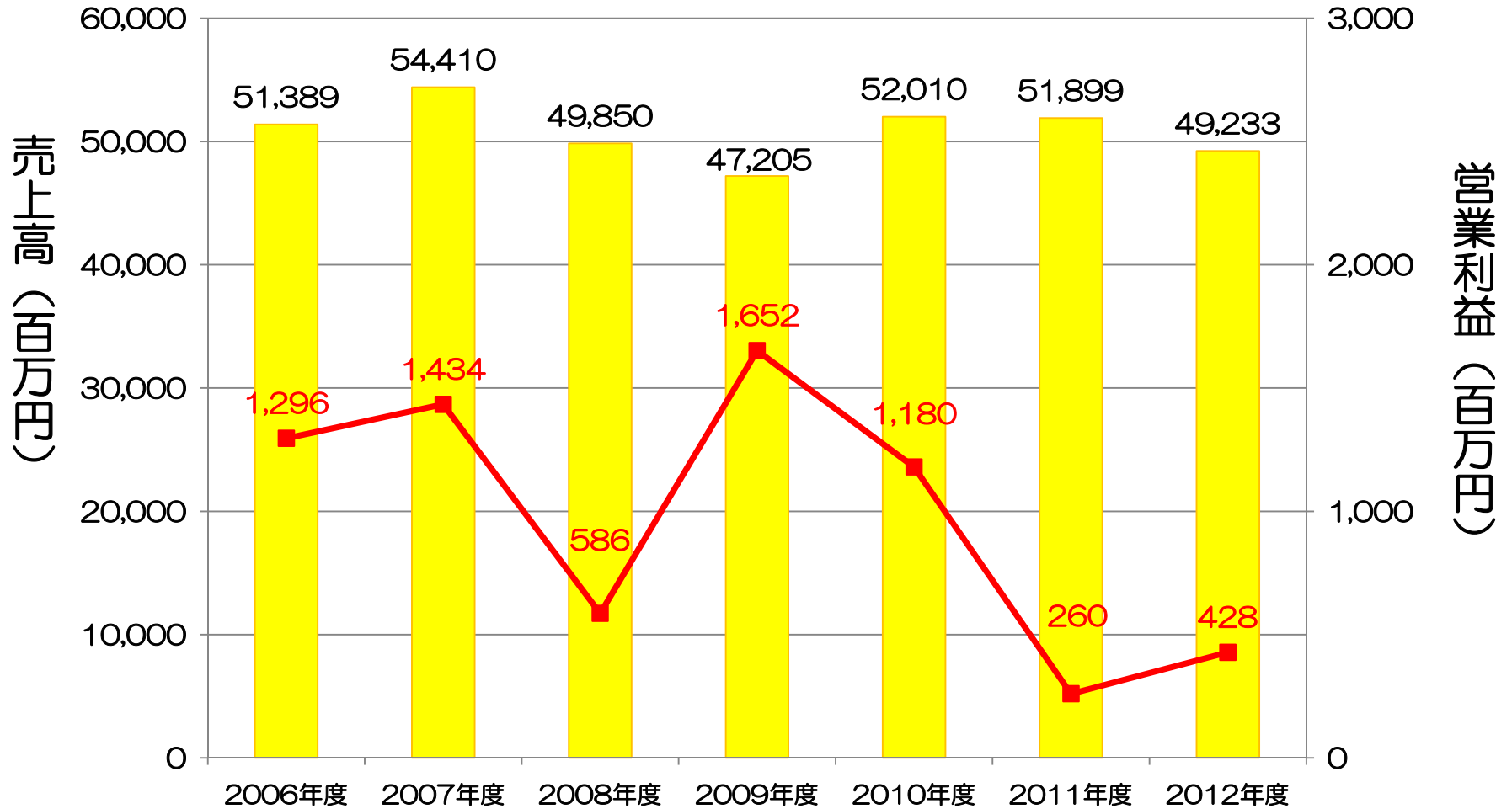
# 5. 事業とセグメントの関係

セグメント	製紙薬品事業	化成品事業	電子材料事業		その他
	サイズ剤 紙力増強剤 塗工紙用薬品 その他	印刷インキ用樹脂 塗料用樹脂 粘着・接着剤用樹脂 合成ゴム重合用乳化剤 超淡色ロジン その他	電子材料用配合製品 光硬化型樹脂	有機・無機ハイブリッド樹脂 機能性ファインケミカル製品 クリームはんだ関連製品 精密部品洗浄剤	精密部品洗浄装置 精密部品洗浄装置 損害保険等
商品分類別					
事業別	製紙薬品事業	化成品事業	光電子材料事業	機能材料事業	その他事業
基盤・伸長別	基盤事業		伸長事業		その他事業

# 6. 個別業績推移

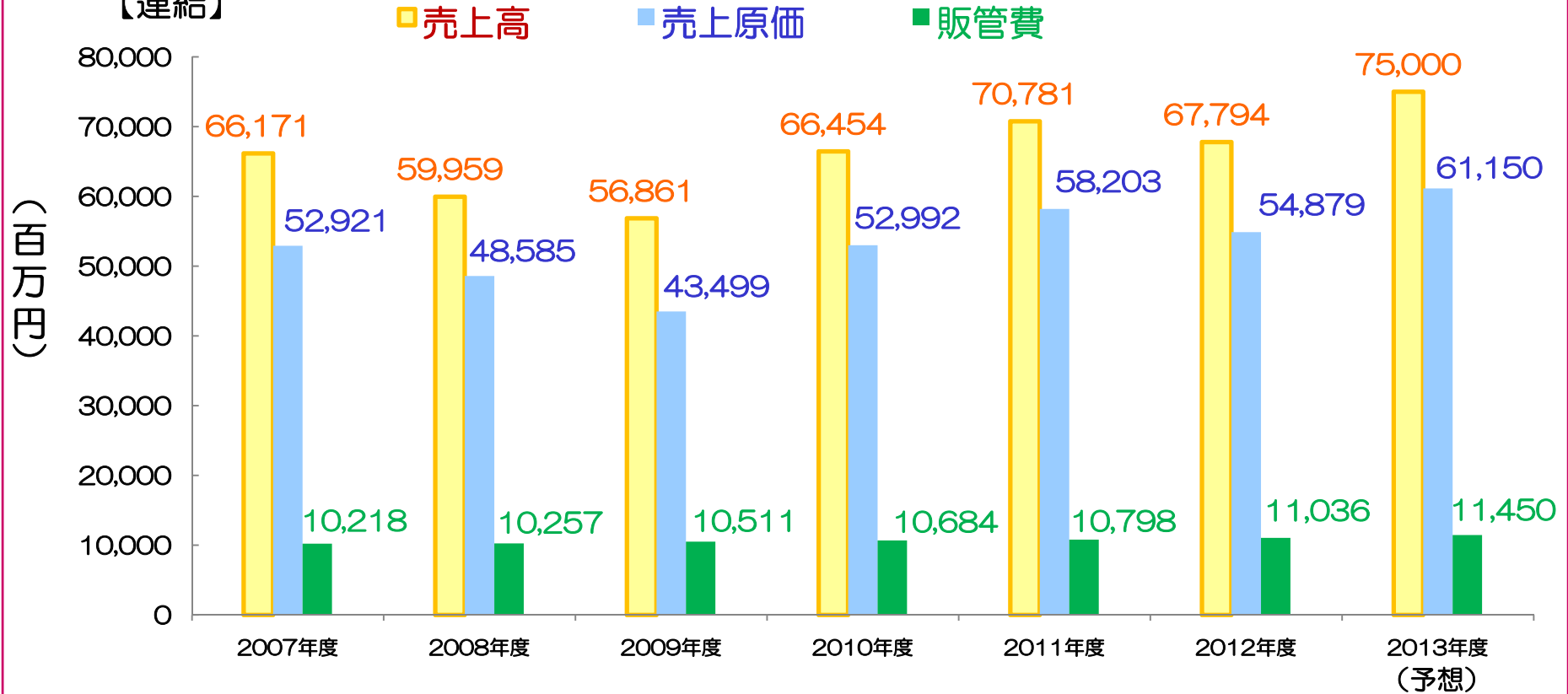
【個別】

■ 売上高 ■ 営業利益



# 7. 売上原価、販管費の推移

【連結】

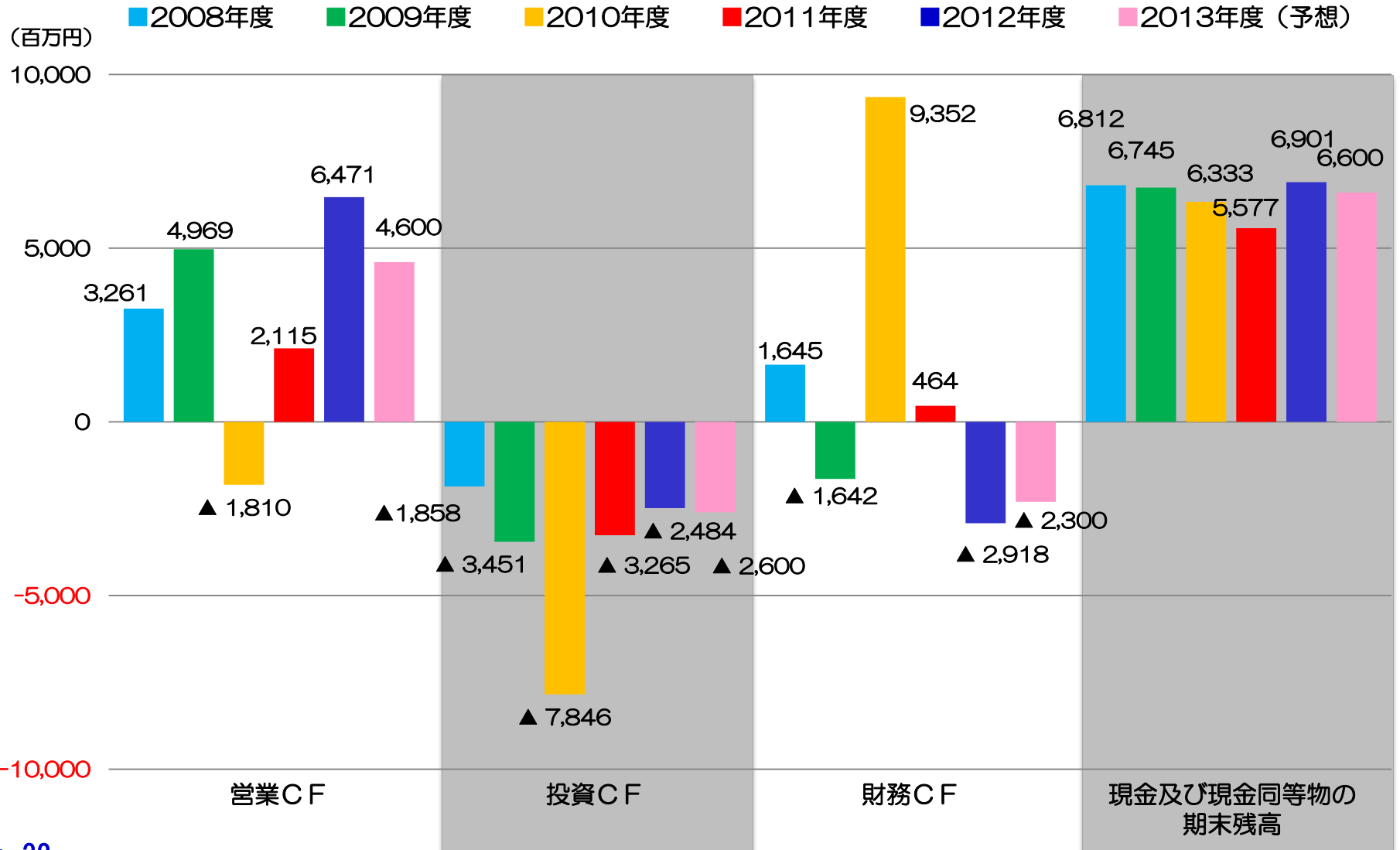


	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度 (予想)
売上原価率	80.0%	81.0%	76.5%	79.7%	82.2%	80.9%	81.5%
販管費率	15.4%	17.1%	18.5%	16.1%	15.3%	16.3%	15.3%



# 8. キャッシュフロー推移

【連結】



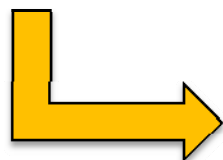
## 9. 第2次中期5カ年経営計画の振り返り

(単位：百万円)	2007年度	2012年度	5カ年伸率%	2012年度(目標)
売上高	66,171	67,794	+2.5	85,000
営業利益	3,031	1,879	△38.0	5,200
経常利益	3,222	1,934	△40.0	5,500
当期純利益	1,775	982	△45.7	3,300
ROE	5.0%	2.6%		≥7%
EBITDA	5,123	5,018	△2.0	9,600

### ・業績目標との乖離要因

#### <外部環境の変化>

- ・電子材料分野におけるマーケット構造の激変
- ・日本市場のシュリンク、ユーザーの海外移転
- ・海外ローカルメーカーとの競争激化



- ・需要構造の変化への対応
- ・現地ニーズに対応した製品投入
- ・販売ネットワーク構築

の遅れ

## ・第2次中期5カ年経営計画の成果

### 成果① グローバル展開のための土台固め

- ・グローバル人財の育成・確保(外国籍キャリア社員増加/海外研修制度導入)
- ・現地ニーズに対応した商品の開発
- ・中国生産拠点の統合、販社の設立

課題

人、モノ、体制のグローバル化の加速

### 成果② 拡大分野に大型設備投資を実施

- ・光硬化型樹脂、有機・無機ハイブリッド樹脂製造設備（大阪工場）の新設
- ・超淡色ロジン製造設備（小名浜工場）の新設
- ・欧州での水素化石油樹脂生産拠点の買収

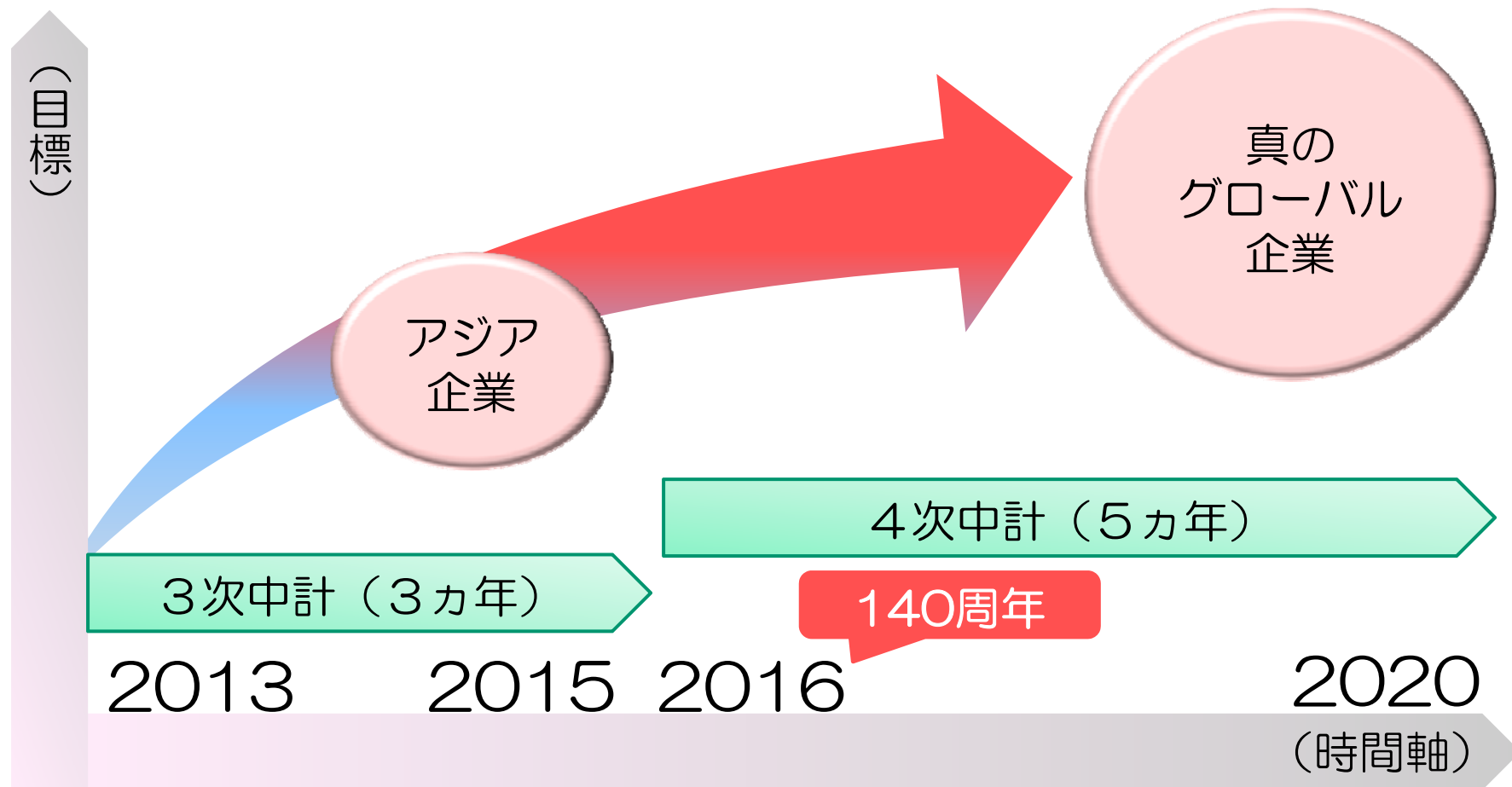
課題

投資の成果の最大化

# 10. 第3次中期経営計画の概要（2013～2015年度）

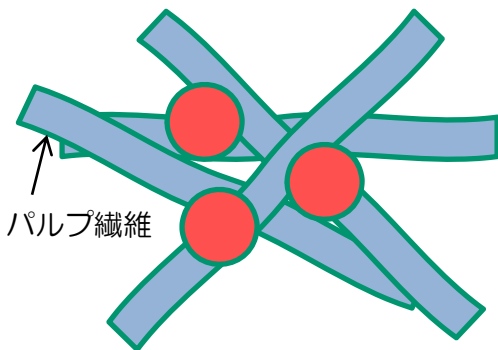
## グローバル140

140周年に向けてグループ経営理念を共有した社員が躍動するアジア企業へ

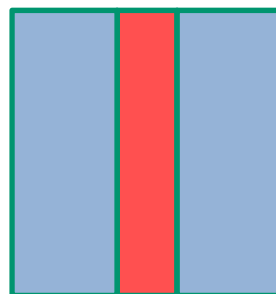


# 荒川化学の事業領域（得意分野）

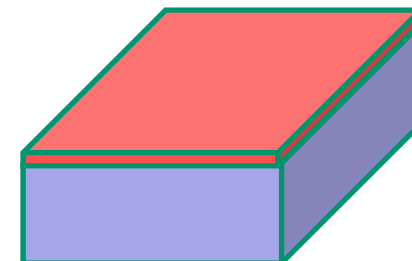
● … 材料    ● … 荒川化学の製品



紙



粘着・接着剤



インキ/塗料/コーティング 剤

## 「つなぐ」技術

荒川化学の製品が材料に働きかけ、機能を付与する

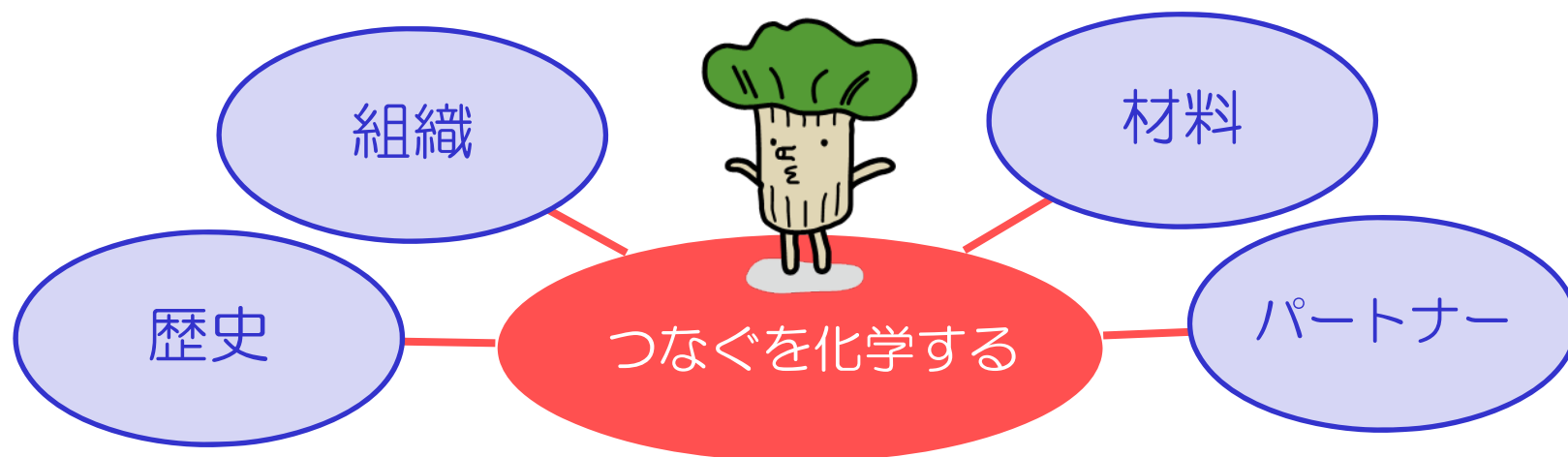


「つなぐを化学する」

「つなぐを化学する SPECIALITY CHEMICAL PARTNER」

## 「つなぐを化学する」

- 荒川化学の「つなぐ技術」が材料に新たな機能を与える。
- 顧客のニーズに合った製品で、特別なパートナーとなることを目指す。
- 横断的な組織体制（横串機能の強化）により、事業開発を促進する。
- 130余年培った技術を活かし、新用途、新分野を切り拓く。



※グローバルは、日本を含めた 世界全体のこと

## グローバルに通用する経営基盤を構築する

～化学はグローバル市場では成長産業である～

### 1) グローバル化の加速

海外売上高280億円、海外売上高比率35%を目指して、アジアを中心とした拠点戦略を一層展開させるとともに、グローバルブランドを育成する。

### 2) 日本事業の再構築

グローバル市場の中での日本事業の位置付けを再認識し、収益を確保できる体制を構築する。

### 3) グローバルガバナンス体制の強化

グローバルで信用される企業となるため、グループガバナンス体制を強化するとともに、スピード感を持って実行できる体制を構築する。

### 4) 事業開発の促進

「つなぐを化学する」をキーワードに全社横断の事業企画活動を強化する。

# 1) グローバル化の加速

各事業のアジアを中心とした展開加速

◆ 検討拠点

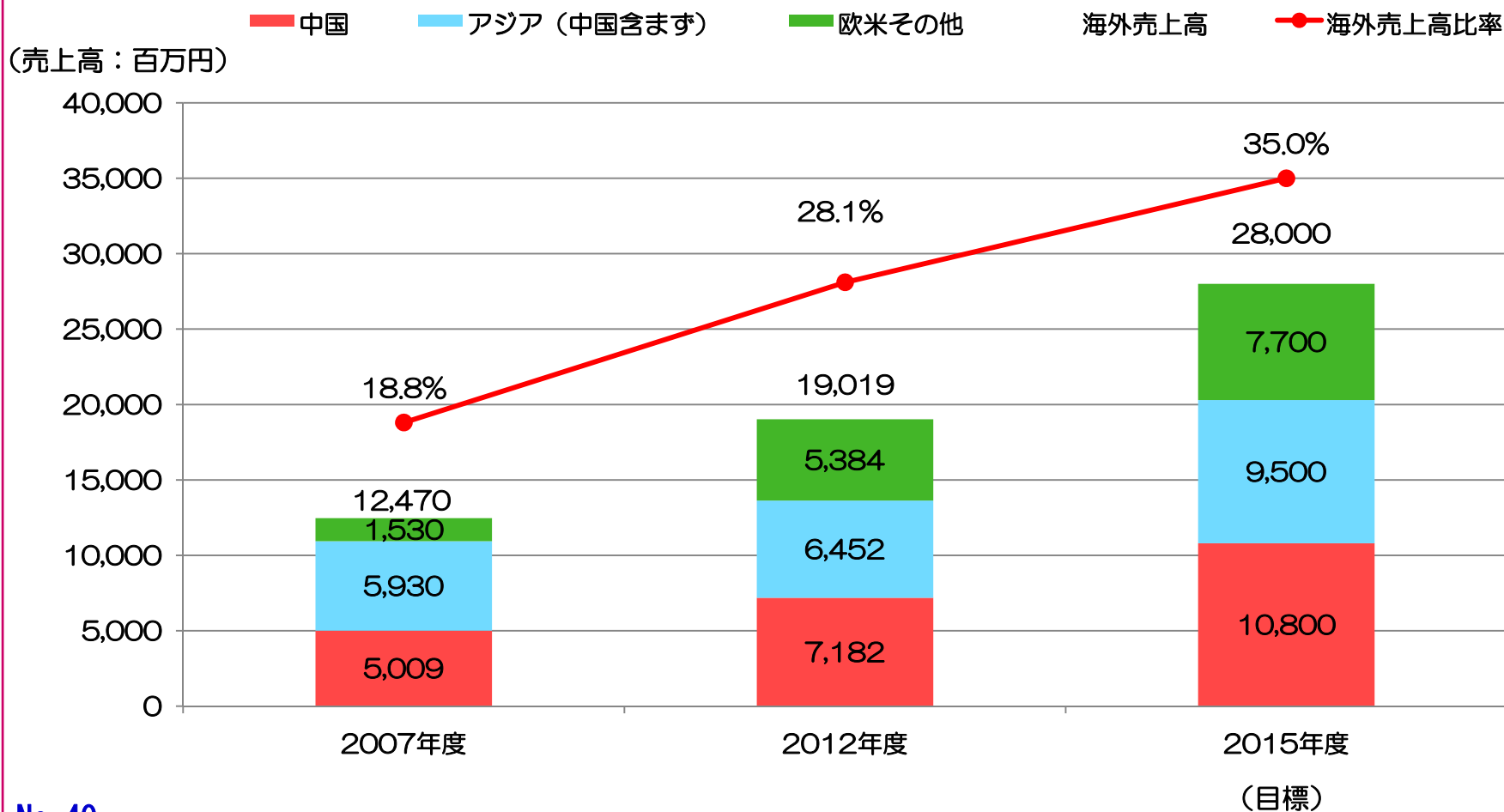
● 製造拠点  
▲ 販売拠点





# 1) グローバル化の加速

海外売上高280億円、海外売上高比率35%を目指す



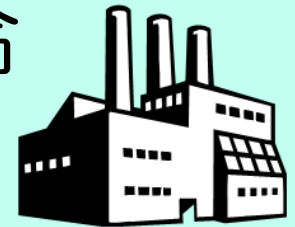
## 2) 日本事業の再構築

グローバル市場の中での日本事業の位置付けを再認識し、  
収益を確保できる体制を構築する

採算悪化事業の  
再構築



生産拠点の  
統廃合



日本事業の再構築

高付加価値商品の拡販



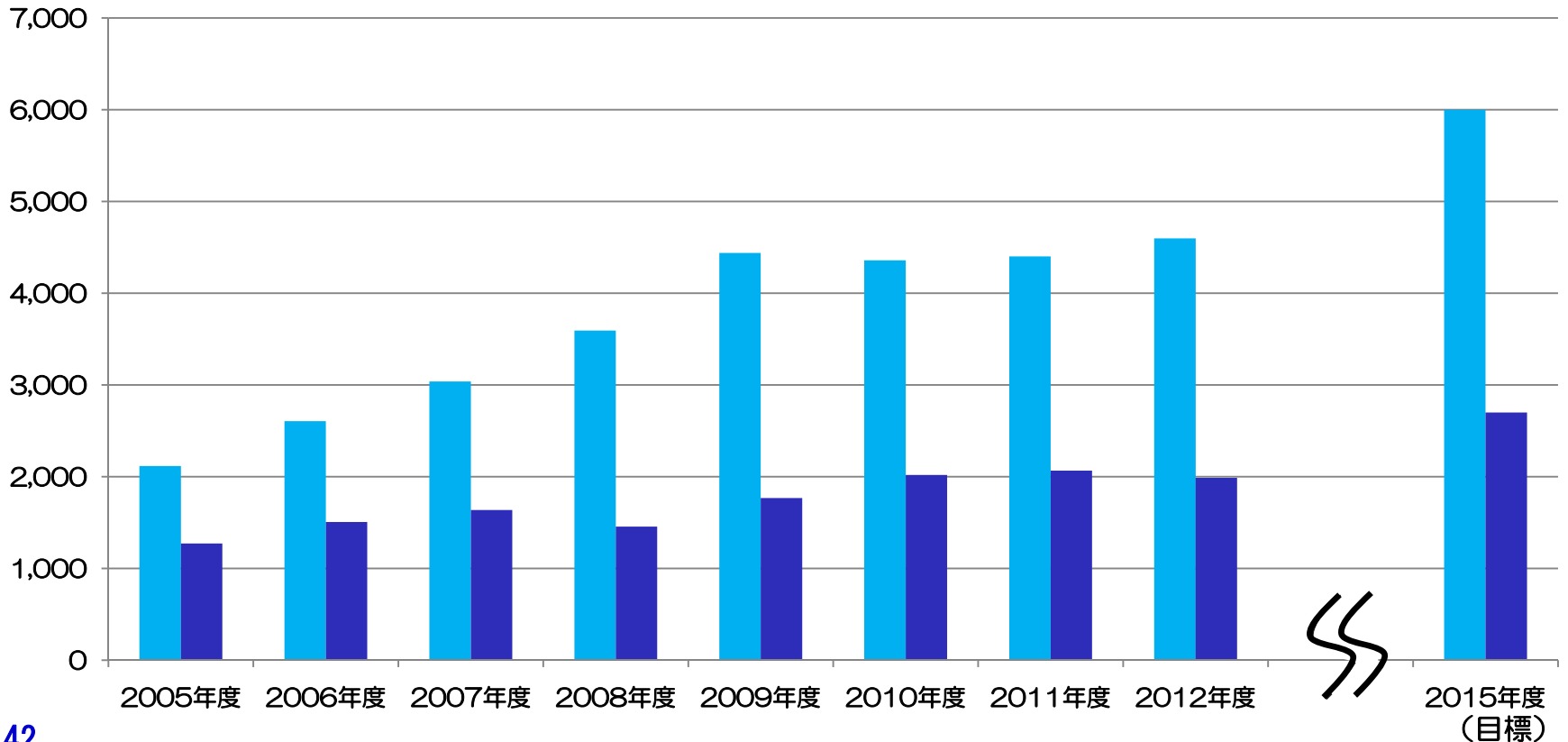
## 2) 日本事業の再構築

### 高付加価値商品の拡販

ビームセット、パインクリスタルは用途展開により再拡大へ

(売上高：百万円)

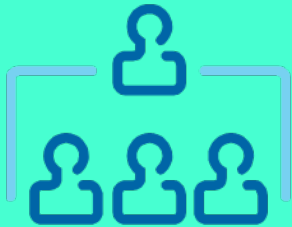
■ ビームセット売上高 ■ パインクリスタル売上高



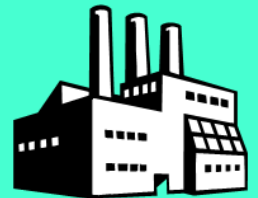
### 3) グローバルガバナンス体制の強化

経営資源のグローバルでの運用体制を構築する

グループ、組織体制の  
見直し



会社設立・運営パッケージの  
構築



グローバルガバナンス体制の  
強化

グローバル人財の  
育成

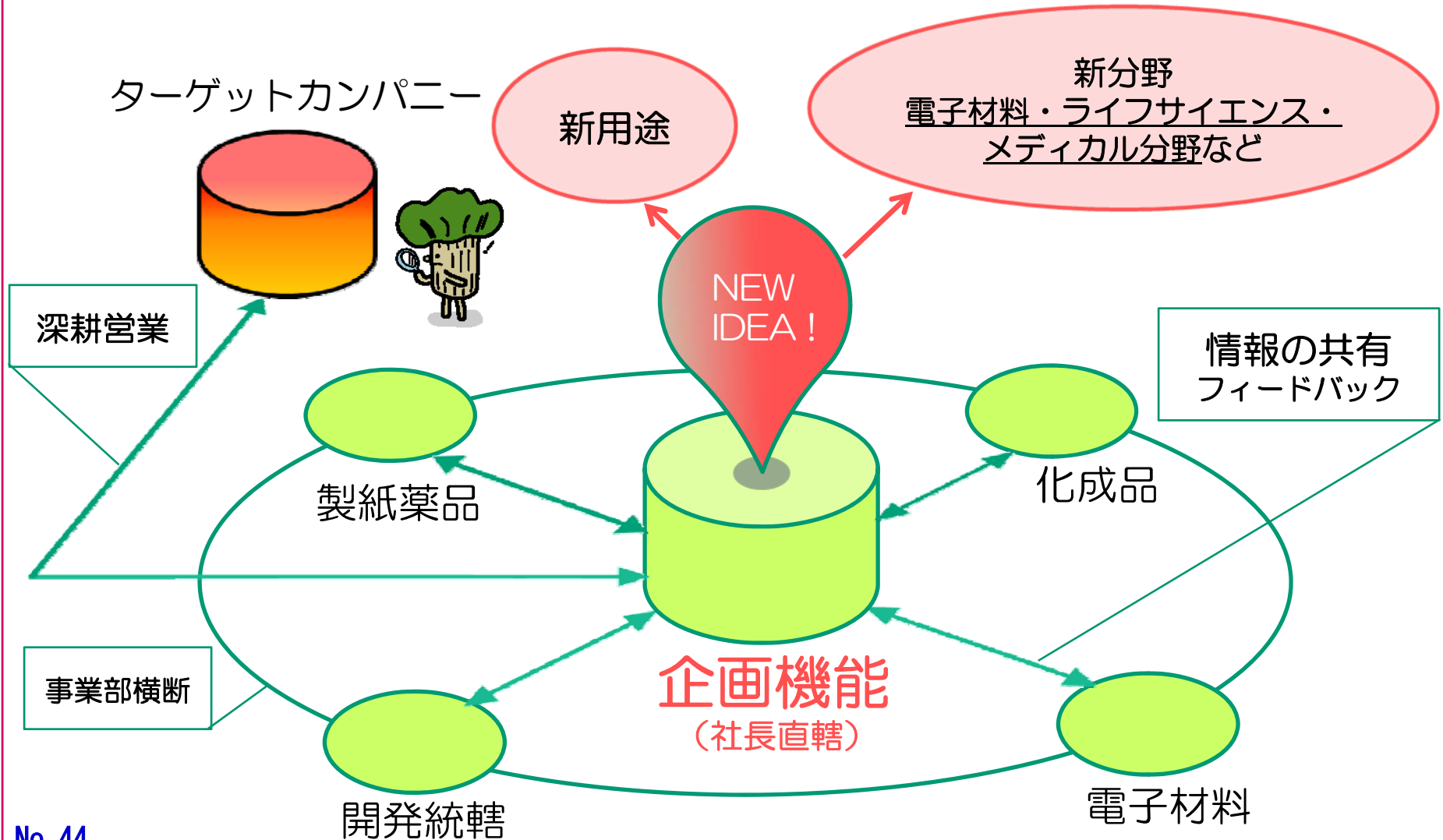


リスクマネジメントの  
強化



## 4) 事業開発の促進

# 社長直轄による全社横断の事業企画活動を強化する



2015年度目標：

売上高	800億円
経常利益	40億円
ROE	≥5%

(単位：百万円)	2012年度	2015年度 (目標)	3カ年 伸率%
売上高	67,794	80,000	+18.0
営業利益	1,879	4,000	+112.9
経常利益	1,934	4,000	+106.8
当期純利益	982	2,400	+144.4
ROE	2.6%	≥5%	
EBITDA	5,018	6,500	+29.5

# 事業セグメント利益（連結）

(単位：百万円)		2012年度	2015年度 (目標)	3カ年 伸率%
製紙薬品事業	売上高	17,840	19,500	+9.3
	セグメント利益	913	1,300	+42.4
	利益率	5.1%	6.7%	
化成品事業	売上高	35,761	40,900	+14.4
	セグメント利益	456	1,400	+207.0
	利益率	1.3%	3.4%	
電子材料事業	売上高	13,924	19,200	+37.9
	セグメント利益	188	1,200	+538.3
	利益率	1.4%	6.3%	
合計	売上高	67,794	80,000	+18.0
	セグメント利益	1,559	3,910	+150.8
	利益率	2.3%	4.9%	

## インセンティブ制度の導入

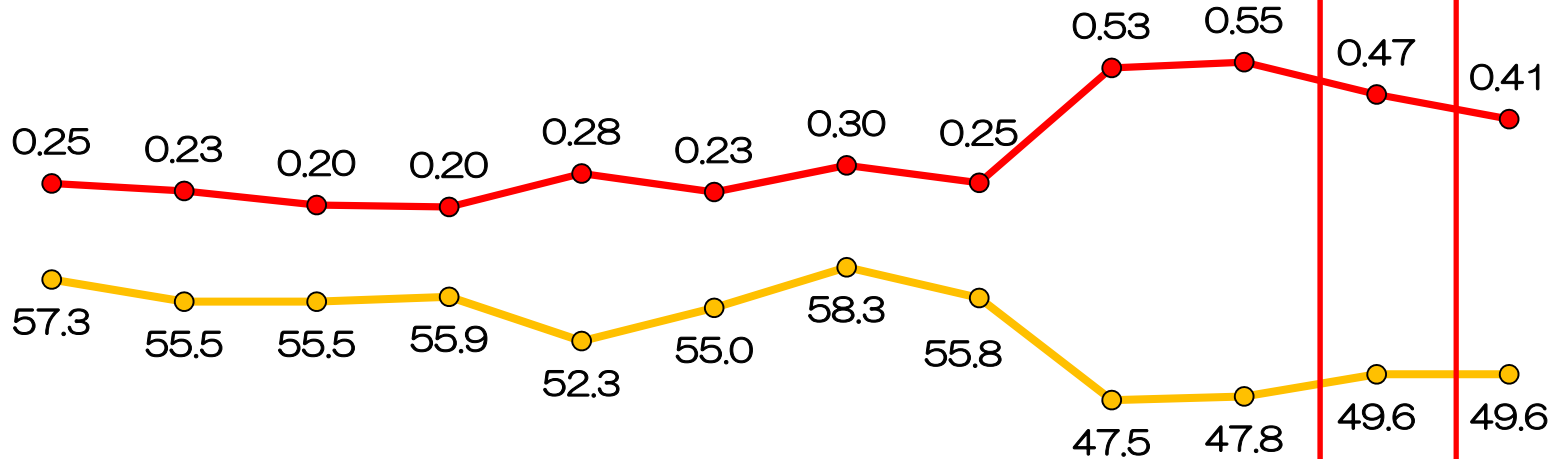
業績目標に対する責任と目標達成時のインセンティブを明確にするため、有償ストック・オプション（新株予約権）を付与する。

有償ストック・オプション	
新株予約権数	1,020千株
行使価格	828円
割当対象者数	241名
希薄化率	5.06%
行使期間	平成26年7月1日～平成29年3月31日まで
新株予約権と引換えに 払い込む金銭	新株予約権 1 個あたり金2,655円



# 1 1. 総資産・有利子負債推移

D/Eレシオ  
(単位：倍)

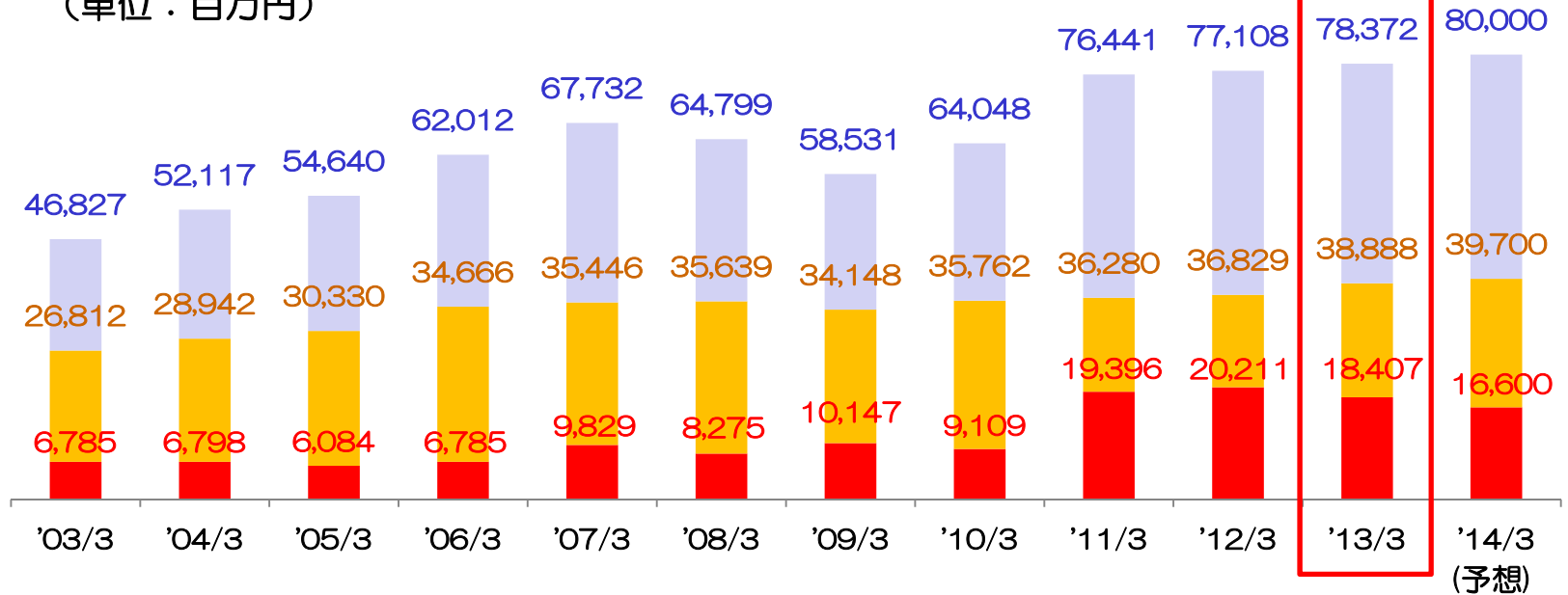


(単位：百万円)

総資産

自己資本

有利子負債



# 1 2. 新製品／化成品事業

## 1 2-1. 帯電防止コーティング剤／新規超淡色ロジン

低温・短時間硬化で  
優れた帯電防止性を付与する  
新規コーティング剤  
(アラコート)

当社保有技術の応用

◎樹脂の設計技術

◎導電性ポリマーの分散技術

＊＊帯電防止コーティング剤の特長＊＊

- ・透明性が良好（低ヘイズ度）
- ・低温、短時間での硬化が可能
- ・湿度に影響しない帯電防止性



[用途]

半導体製造工程用キャリアテープ  
ディスプレイ用プロテクトフィルム  
など

高耐光性・低重合阻害性、液状・  
低臭気の特長とする新規超淡色  
ロジン（パインクリスタル）

ロジンに新たな特長を付与

＊＊新規超淡色ロジンの特長＊＊  
高耐光性・低重合阻害性タイプ

光による色調劣化が少なく、光硬化反応を阻害しないので、UV粘着・接着剤への展開が可能

液状タイプ

臭気成分が従来製品の100分の1、透明で液状を実現



[用途]

粘着・接着剤  
（自動車・ディスプレイ等）  
化粧品分野など

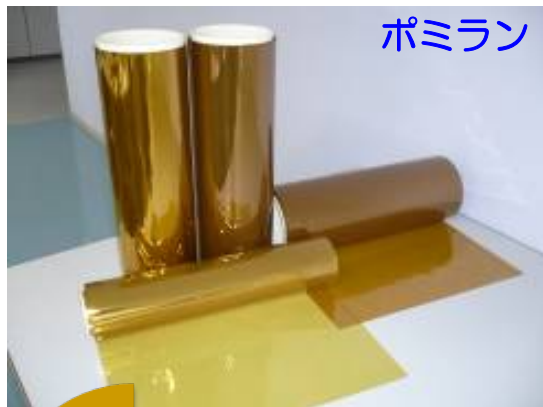
# 1 2. 新製品／光電子材料事業

## 1 2-2. シリカハイブリッドポリイミドフィルム（ポミラン）

### 有機・無機材料の特長を併せ持つ優れた回路基板用ポリイミドフィルム

当社ハイブリッド技術により素材を開発し、  
 タイマイド・テクノロジー社（台湾）と共同でフィルム化技術を確立

シリカハイブリッドポリイミドフィルム

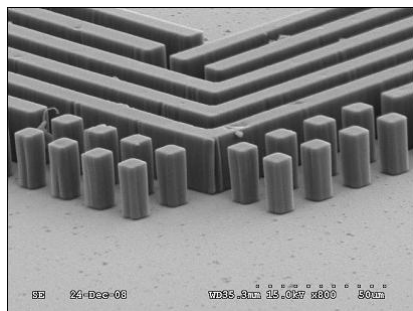


ポミラン

#### ポミランの特長

- ・ 難燃性、耐熱性、絶縁性、寸法安定性、  
 耐イオンマイグレーション、金属密着性に優れる素材
- ・ 上記素材を使用した表面平滑性、透明性に優れるフィルム

- ・ ポミラン・テクノロジー社（台湾）を設立（2012/2）  
 （タイマイド社と合弁）
- ・ タイマイド社に新設備完成（2012/5）



2013年度実績化に向け、  
 試作フィルムが評価中

ファインピッチ回路形成が可能で、  
 フレキシブルプリント基板などへ応用

# 1 2. 新製品／光電子材料事業（ペルノックス）

## 1 2-3. 放熱材料（ペルクール） 放熱塗料、放熱シート

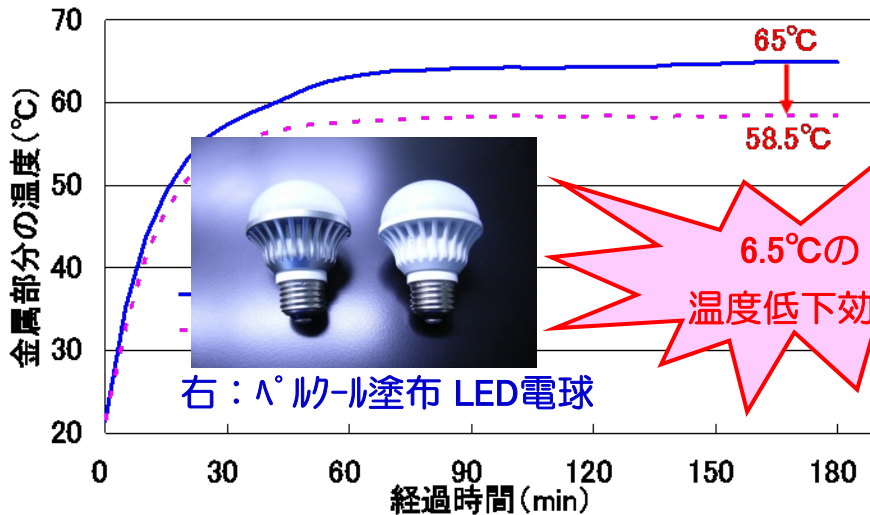
塗る・貼るだけで放熱性を向上させる放熱材料

### 用途

- LED照明・バックライトの熱対策（発光効率のアップ、長寿命化）
- 太陽電池の熱対策（発電効率向上）
- 各種電気製品の熱対策（電子回路の信頼性向上、筐体全体の温度低下）

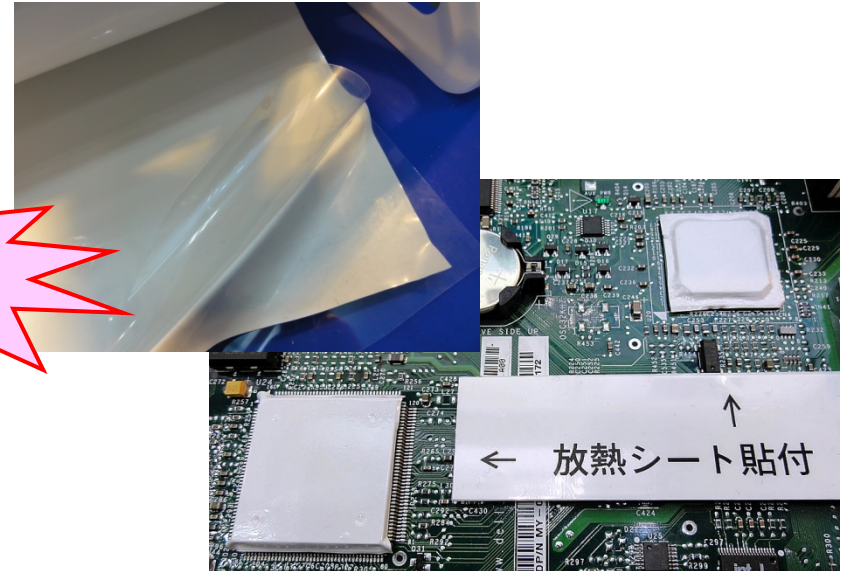
### 放熱塗料

市販のLED電球に塗布した場合の放熱効果



### 放熱シート

＜電子基板への使用例＞



# 1 3. 環境配慮型製品の売上高推移（個別）

